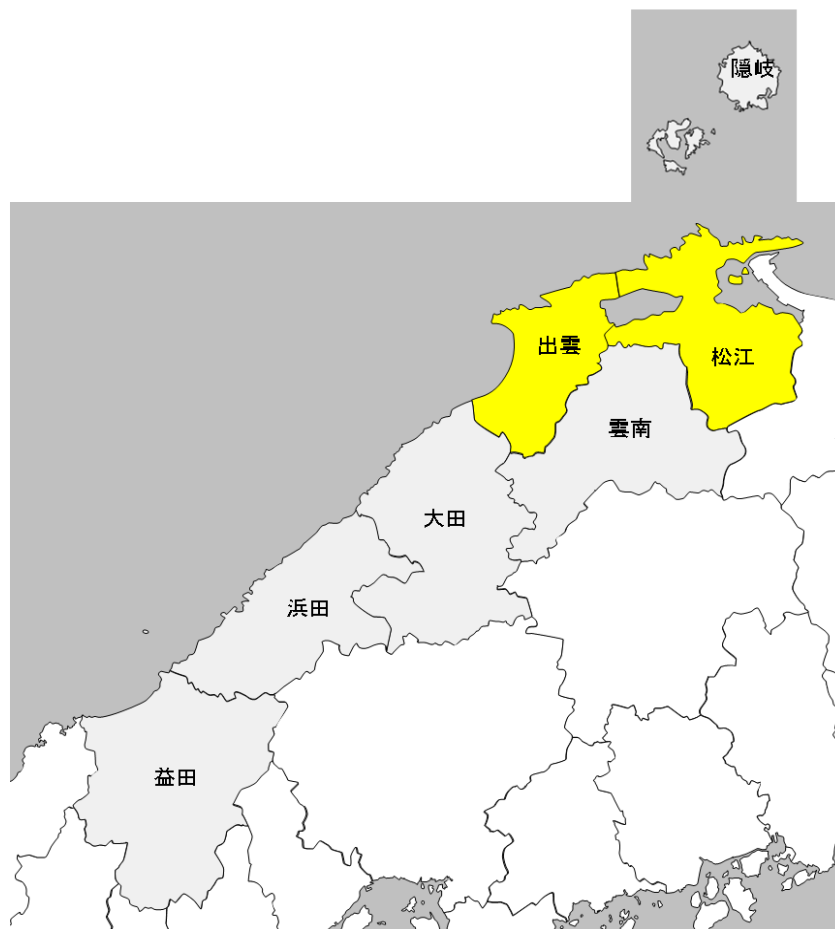


# 32. 島根県

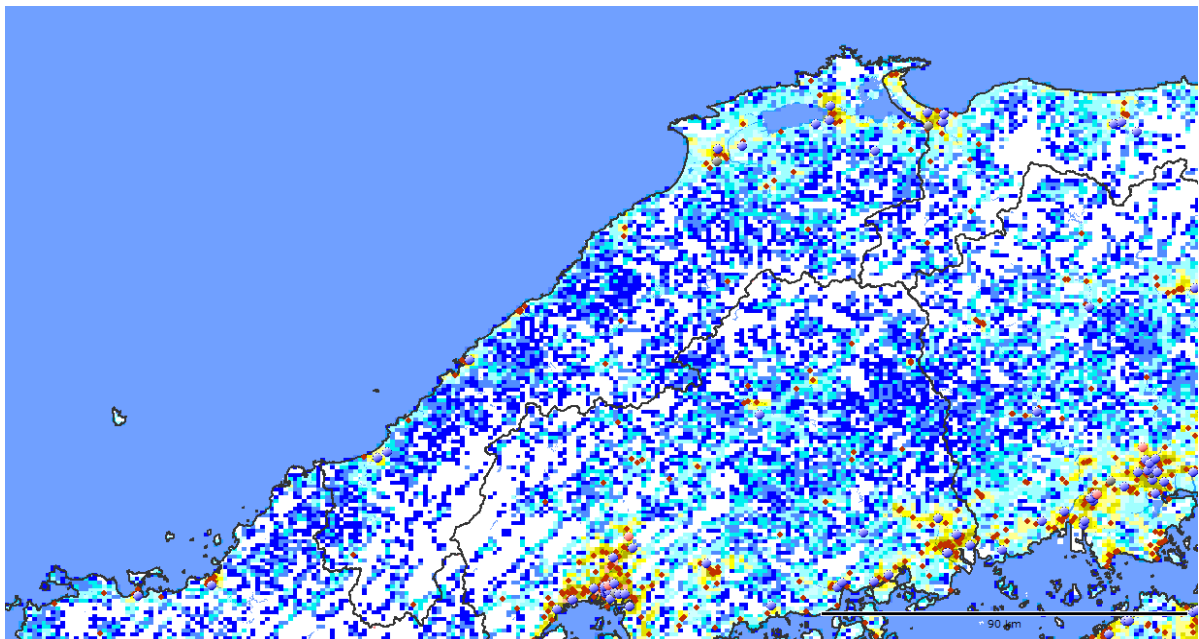


目次

島根県	32	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	32	-	8
1. 松江医療圏	32	-	20
2. 雲南医療圏	32	-	25
3. 出雲医療圏	32	-	30
4. 大田医療圏	32	-	35
5. 浜田医療圏	32	-	40
6. 益田医療圏	32	-	45
7. 隠岐医療圏	32	-	50

# 32. 島根県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



## (島根県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 島根県は、総人口約694千人(2015年)、面積6708km<sup>2</sup>、人口密度は104人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 島根県の総人口は2025年に622千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に521千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の121千人が、2025年にかけて137千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には129千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 島根県の一人当たり医療費(国保)は430千円(偏差値69)、介護給付費は309千円(偏差値66)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 島根県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.34、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.26で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が54(病院医師数53、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は59と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 島根県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、13455人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が8676床(偏差値58)、高齢者住宅等が4779床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、11071人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム44、軽費ホーム53、グループホーム57、サ高住49である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1541人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

島根県の総人口は、2005年742223人が、2015年に694352人と6%減少し、2025年の人口が621882人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

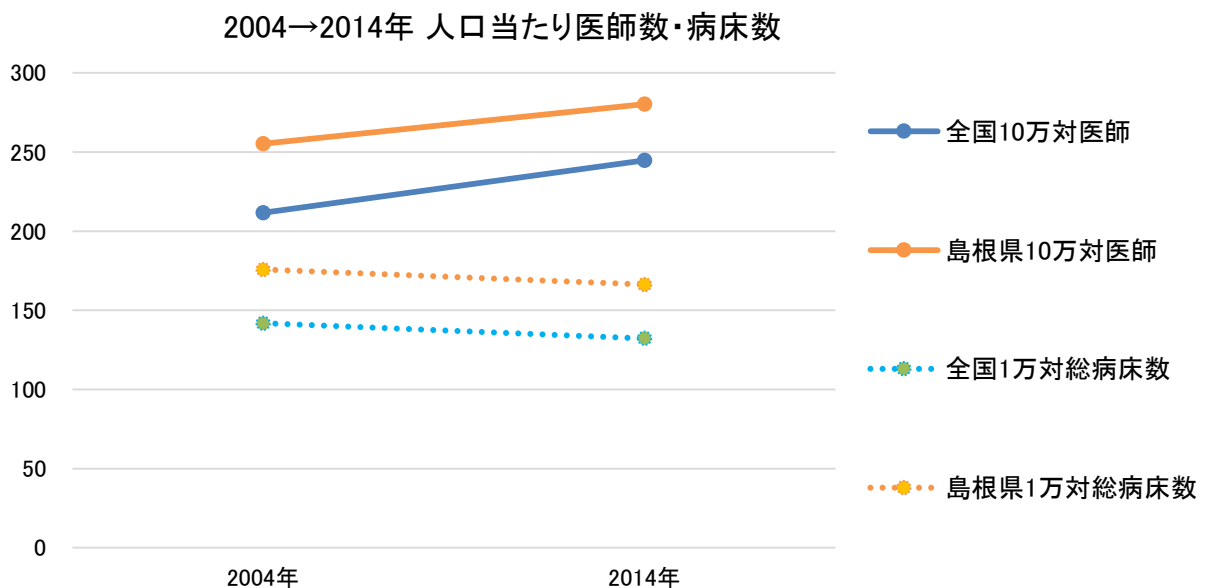
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が59(人口10万人当たり7.9病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2014年に52(人口10万人当たり7.5病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が770(人口10万人当たり104診療所(全国平均76)偏差値64)であったが、2014年に723(人口10万人当たり104診療所(全国平均79)偏差値63)と、47診療所が減少した。

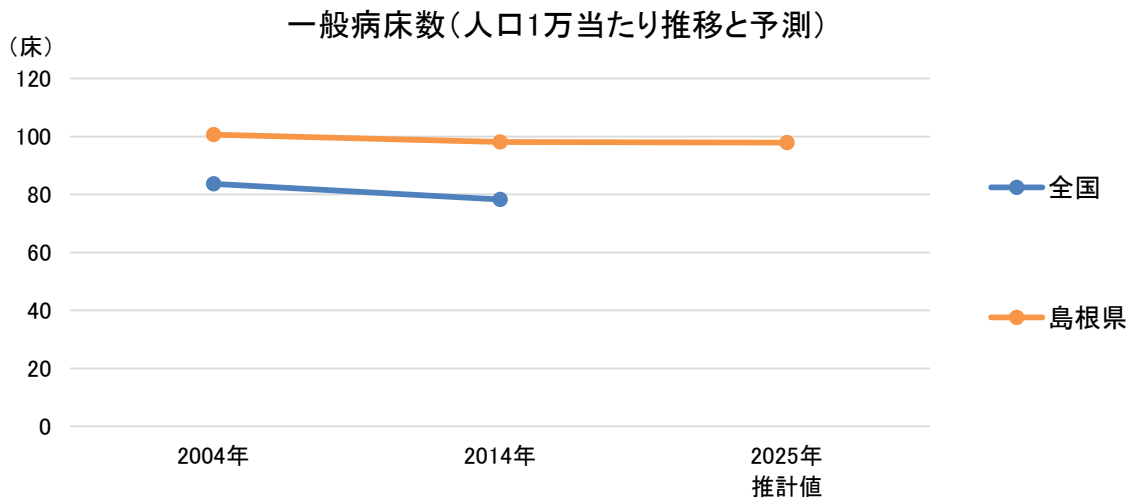
2004年の総病床数が13046床(人口1万人当たり176(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に11548床(人口1万人当たり166(全国平均132)偏差値56)と、1498床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が1895人(人口10万人当たり255人(全国平均212人)偏差値55)であったが、2014年に1947人(人口10万人当たり280人(全国平均245人)偏差値54)と、52人の増加、率にして3%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



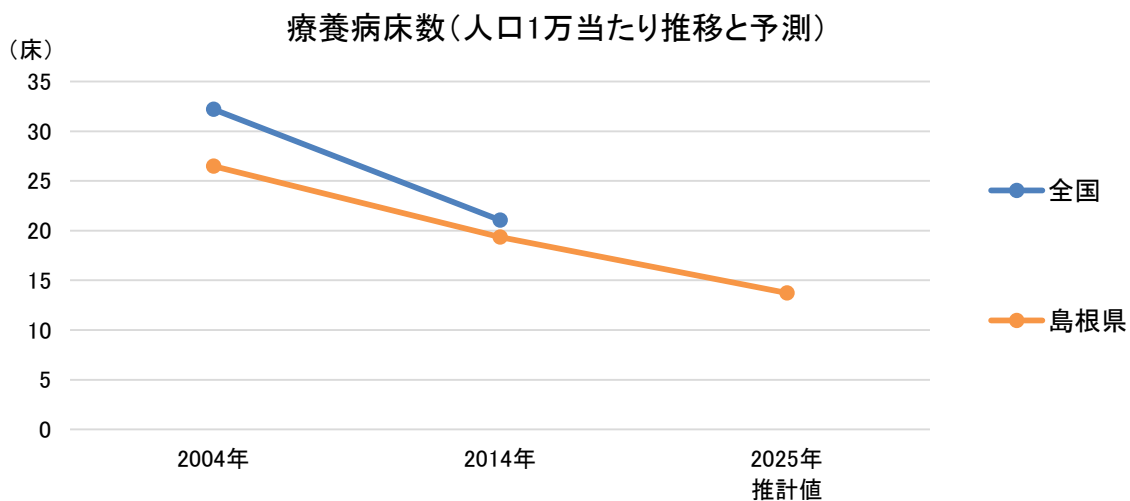
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7471床(人口1万人当たり101(全国平均84)偏差値56)であったが、2014年に6811床(人口1万人当たり98(全国平均78)偏差値57)と、660床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6085床(2025年の推計人口1万人当たり98)になることが予想される。



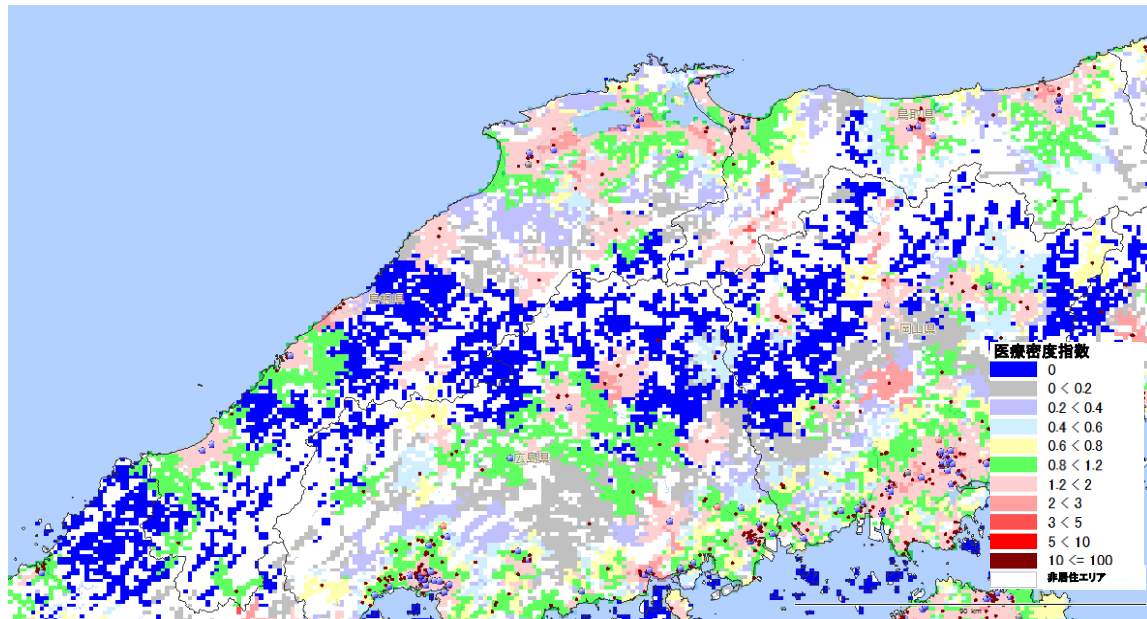
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2776床(75歳以上1000人当たり26(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に2350床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値49)と、426床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1882床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。



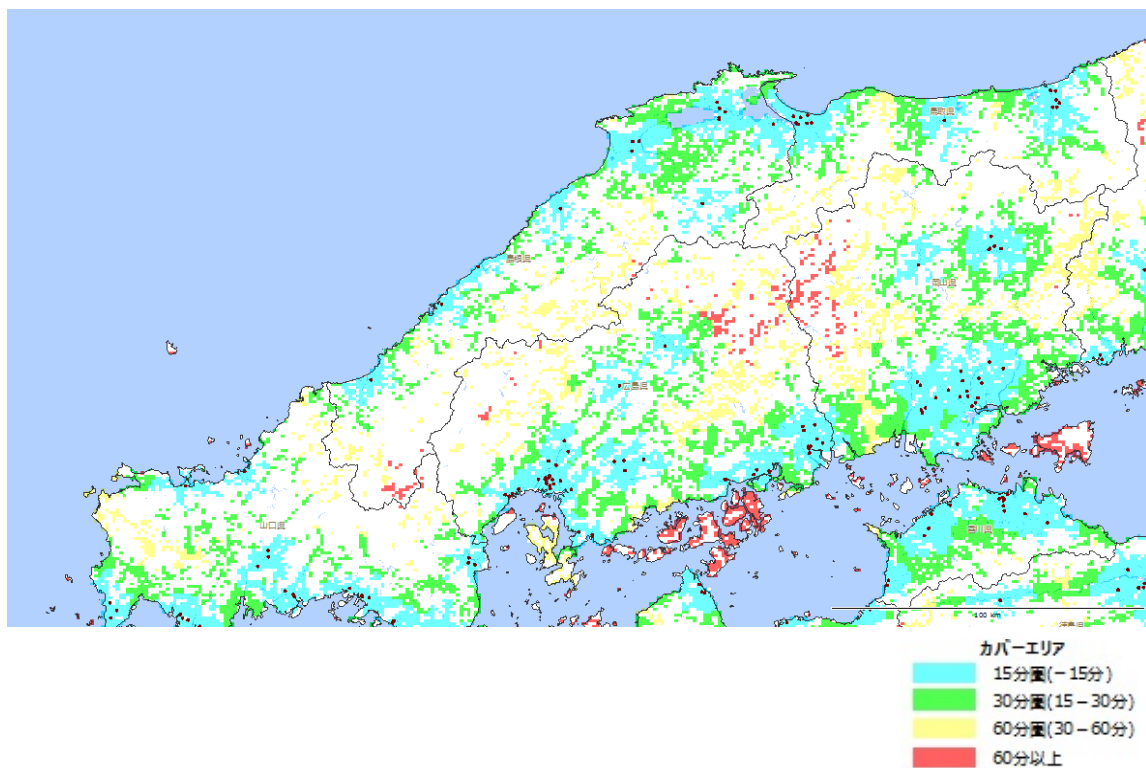
(島根県) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表32-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資\_図表 32-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
島根県	694	46位	6,708	19位	103.5		32%	622	521	121	137	129	-10%	-16%	13%	-6%
松江	246	35%	994	15%	247.3	地方都市型	29%	228	197	37	46	46	-7%	-14%	24%	0%
雲南	57	8%	1,164	17%	49.1	過疎地域型	38%	50	39	13	13	12	-12%	-22%	0%	-8%
出雲	172	25%	624	9%	275.4	地方都市型	29%	157	138	26	30	30	-9%	-12%	15%	0%
大田	55	8%	1,244	19%	43.9	過疎地域型	40%	46	36	13	13	11	-16%	-22%	0%	-15%
浜田	83	12%	959	14%	86.1	過疎地域型	34%	72	57	16	16	15	-13%	-21%	0%	-6%
益田	62	9%	1,377	21%	44.8	過疎地域型	37%	53	41	13	14	12	-15%	-23%	8%	-14%
隠岐	21	3%	346	5%	59.6	過疎地域型	39%	17	13	4	5	4	-19%	-24%	25%	-20%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月  
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月  
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日

資\_図表 32-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
島根県	1.34	1.26	11,886	11,163	6.1%
松江	1.83	1.36	3,631	3,730	-2.7%
雲南	1.13	1.23	1,145	1,083	5.4%
出雲	1.17	1.31	2,654	2,468	7.0%
大田	0.82	1.24	1,244	1,044	16.1%
浜田	1.25	1.90	1,511	1,333	11.8%
益田	0.90	3.02	1,273	1,101	13.5%
隠岐	0.50	0.69	428	405	5.4%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。



資\_図表 32-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)			被保険者一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
島根県	430	69	1.147	186	69	1.324	220	67	1.058	309	66
松江	413	66	1.102	182	67	1.276	207	60	1.003	293	61
雲南	439	72	1.122	204	75	1.366	212	63	0.987	293	61
出雲	414	66	1.108	167	62	1.174	225	70	1.096	298	63
大田	455	75	1.155	197	72	1.312	234	75	1.081	344	76
浜田	505	87	1.267	221	80	1.454	263	90	1.195	355	79
益田	415	66	1.048	182	67	1.204	207	60	0.950	293	61
隠岐	404	64	1.014	191	70	1.254	189	50	0.863	348	77

出典 <一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省  
<一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報)  
平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)

※後期高齢者の医療費については、資\_図表32-35を参照。

資\_図表 32-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
島根県	51	0.6%	7.3	52	723	0.7%	104	63
松江	15	29%	6.1	49	247	34%	101	61
雲南	5	10%	8.8	55	52	7%	91	56
出雲	11	22%	6.4	49	163	23%	95	58
大田	4	8%	7.3	52	73	10%	134	79
浜田	9	18%	10.9	60	94	13%	114	68
益田	5	10%	8.1	53	74	10%	120	71
隠岐	2	4%	9.7	57	20	3%	97	59

出典 平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月

資\_図表 32-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
島根県	723	0.7%	104	63	677	0.7%	98	63	46	0.6%	6.6	51
松江	247	34%	101	61	232	34%	94	62	15	33%	6.1	50
雲南	52	7%	91	56	52	8%	91	60	0	0%	0	40
出雲	163	23%	95	58	151	22%	88	58	12	26%	7.0	51
大田	73	10%	134	79	66	10%	121	76	7	15%	12.8	60
浜田	94	13%	114	68	83	12%	101	65	11	24%	13.3	61
益田	74	10%	120	71	73	11%	118	74	1	2%	1.6	43
隠岐	20	3%	97	59	20	3%	97	63	0	0%	0	40

出典 平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月

資\_図表 32-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
島根県	10,775	0.7%	1,552	56	538	0.5%	77	49	11,313	0.7%	1,629	56
松江	3,879	36%	1,578	57	167	31%	68	48	4,046	36%	1,646	56
雲南	702	7%	1,229	50	0	0%	0	42	702	6%	1,229	48
出雲	2,774	26%	1,613	58	116	22%	67	48	2,890	26%	1,681	57
大田	728	7%	1,333	52	91	17%	167	58	819	7%	1,500	53
浜田	1,439	13%	1,743	60	145	27%	176	59	1,584	14%	1,918	61
益田	1,094	10%	1,772	61	19	4%	31	45	1,113	10%	1,803	59
隠岐	159	1%	772	41	0	0%	0	42	159	1%	772	40
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 32-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
島根県	6,324	0.7%	911	59	2,077	0.6%	299	52	2,324	0.7%	335	53
松江	2,441	39%	993	63	489	24%	199	47	931	40%	379	55
雲南	405	6%	709	50	193	9%	338	54	100	4%	175	46
出雲	1,679	27%	977	62	611	29%	355	55	478	21%	278	51
大田	378	6%	692	50	178	9%	326	53	168	7%	308	52
浜田	684	11%	828	56	341	16%	413	57	410	18%	497	61
益田	626	10%	1,014	64	241	12%	390	56	215	9%	348	54
隠岐	111	2%	539	43	24	1%	116	43	22	1%	107	43
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資\_図表 32-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
島根県	601	0.8%	87	56	786	1.3%	113	60
松江	253	42%	103	60	237	30%	96	57
雲南	30	5%	53	49	76	10%	133	63
出雲	156	26%	91	57	126	16%	73	53
大田	28	5%	51	49	148	19%	271	88
浜田	90	15%	109	61	107	14%	130	63
益田	44	7%	71	53	92	12%	149	66
隠岐	0	0%	0	38	0	0%	0	40
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資\_図表 32-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
島根県	6,227	5,112	645	4,368	1,080	1,395	82.6%	62	31.6%	60
松江	1,995	1,790	79	1,825	588	401	75.3%	59	16.5%	53
雲南	487	345	138	215	60	55	85.2%	64	71.5%	77
出雲	1,672	1,308	52	1,052	327	559	80.0%	61	8.5%	50
大田	437	378	55	291	0	123	100.0%	70	30.9%	59
浜田	727	611	116	660	55	197	91.7%	66	37.1%	62
益田	750	569	181	325	50	60	91.9%	66	75.1%	79
隠岐	159	111	24	0	0	0	100.0%	70	100.0%	89

出典 地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む)  
公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。

資\_図表 32-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,218	(1,031)	1,022,592		805	(283)
島根県	15,540	0.6%	2,238	50	5,976	0.6%	861	52
松江	6,276	40%	2,554	53	2,136	36%	869	52
雲南	312	2%	546	34	36	1%	63	24
出雲	6,768	44%	3,936	67	2,220	37%	1,291	67
大田	168	1%	308	31	396	7%	725	47
浜田	888	6%	1,075	39	780	13%	945	55
益田	960	6%	1,555	44	348	6%	564	41
隠岐	168	1%	815	36	60	1%	291	32

出典 平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月

資\_図表 32-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
島根県	2,122	0.6%	306	54	1,312	0.6%	189	53	811	0.6%	117	55
松江	707	33%	288	52	409	31%	166	50	298	37%	121	56
雲南	96	5%	168	38	52	4%	91	38	44	5%	77	42
出雲	779	37%	453	70	568	43%	330	75	211	26%	123	56
大田	128	6%	234	46	55	4%	101	40	73	9%	134	60
浜田	202	10%	245	47	117	9%	141	46	85	11%	103	50
益田	176	8%	285	51	89	7%	144	46	87	11%	141	62
隠岐	34	2%	167	38	22	2%	109	41	12	1%	58	36

出典 病院医師数と診療所医師数の合計 平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月

平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月

資\_図表 32-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
島根県	109	0.7%	15.7	55	82	0.7%	11.8	54	65	0.6%	9.4	53
松江	31	28%	12.6	50	24	29%	9.8	50	26	40%	10.6	56
雲南	7	6%	12.3	50	2	2%	3.5	36	2	3%	3.5	37
出雲	54	50%	31.4	79	35	43%	20.4	73	22	34%	12.8	62
大田	6	6%	11.0	48	4	5%	7.3	44	4	6%	7.3	48
浜田	10	9%	12.1	50	9	11%	10.9	52	7	11%	8.5	51
益田	1	1%	1.6	34	5	6%	8.1	46	3	5%	4.9	41
隠岐	0	0%	0	31	3	4%	14.6	61	1	2%	4.9	41
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 32-13 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
島根県	29	0.5%	4.2	50	51	0.5%	7.3	50	40	0.5%	5.8	50
松江	5	17%	2.0	40	19	37%	7.7	51	14	35%	5.7	49
雲南	2	7%	3.5	47	1	2%	1.8	32	2	5%	3.5	41
出雲	17	59%	9.9	78	17	33%	9.9	58	16	40%	9.3	63
大田	1	3%	1.8	39	1	2%	1.8	32	1	3%	1.8	34
浜田	2	7%	2.4	42	8	16%	9.7	57	3	8%	3.6	41
益田	2	7%	3.2	46	4	8%	6.5	47	4	10%	6.5	52
隠岐	0	0%	0	30	1	2%	4.9	42	0	0%	0	27
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 32-14 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
島根県	62	0.7%	8.9	57	121	0.6%	17.4	52	100	0.7%	14.4	55
松江	18	29%	7.3	52	44	36%	17.9	53	42	42%	17.1	61
雲南	1	2%	1.8	36	5	4%	8.8	39	5	5%	8.8	42
出雲	21	34%	12.2	66	53	44%	30.8	72	29	29%	16.9	61
大田	3	5%	5.5	47	1	1%	1.8	29	2	2%	3.7	31
浜田	12	19%	14.5	73	11	9%	13.3	46	11	11%	13.3	53
益田	6	10%	9.7	59	6	5%	9.7	41	9	9%	14.6	56
隠岐	1	2%	4.9	45	1	1%	4.9	34	2	2%	9.7	45
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 32-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
島根県	36	0.6%	5.2	53	31	0.5%	4.5	48	38	0.7%	5.5	54
松江	11	31%	4.5	50	11	35%	4.5	48	12	32%	4.9	52
雲南	1	3%	1.8	36	1	3%	1.8	36	0	0%	0	36
出雲	13	36%	7.6	65	12	39%	7.0	58	19	50%	11.1	74
大田	4	11%	7.3	64	2	6%	3.7	44	2	5%	3.7	48
浜田	2	6%	2.4	40	3	10%	3.6	44	1	3%	1.2	40
益田	4	11%	6.5	60	2	6%	3.2	42	4	11%	6.5	58
隠岐	1	3%	4.9	52	0	0%	0	28	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 32-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
島根県	52	0.8%	7.5	58	10	0.6%	1.4	53	19	0.6%	2.7	51
松江	16	31%	6.5	54	2	20%	0.8	46	3	16%	1.2	42
雲南	0	0%	0	33	0	0%	0	37	2	11%	3.5	55
出雲	31	60%	18.0	93	5	50%	2.9	69	8	42%	4.7	62
大田	3	6%	5.5	51	0	0%	0	37	1	5%	1.8	46
浜田	1	2%	1.2	37	2	20%	2.4	63	4	21%	4.8	63
益田	0	0%	0	33	1	10%	1.6	55	1	5%	1.6	44
隠岐	1	2%	4.9	49	0	0%	0	37	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 32-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
島根県	8	0.4%	1.2	47	21	0.9%	3.0	59
松江	5	63%	2.0	54	11	52%	4.5	70
雲南	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出雲	3	38%	1.7	52	8	38%	4.7	71
大田	0	0%	0	37	0	0%	0	36
浜田	0	0%	0	37	2	10%	2.4	54
益田	0	0%	0	37	0	0%	0	36
隠岐	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資\_図表 32-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
島根県	7,783	0.7%	1,121	59	6,317	0.7%	910	58	1,466	0.7%	211	58
松江	2,691	35%	1,095	58	2,238	35%	911	58	453	31%	184	54
雲南	444	6%	777	47	352	6%	617	46	92	6%	161	51
出雲	2,285	29%	1,329	66	1,950	31%	1,134	67	335	23%	195	55
大田	457	6%	838	49	322	5%	589	44	136	9%	249	63
浜田	1,016	13%	1,231	62	748	12%	906	58	268	18%	325	73
益田	725	9%	1,175	60	581	9%	941	59	145	10%	234	61
隠岐	164	2%	796	47	126	2%	611	45	38	3%	184	54
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 32-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
島根県	866	0.7%	125	55	1,275	0.4%	184	45
松江	388	45%	158	61	451	35%	184	45
雲南	43	5%	75	45	59	5%	103	36
出雲	201	23%	117	53	384	30%	223	50
大田	42	5%	76	46	86	7%	157	42
浜田	94	11%	114	53	153	12%	185	45
益田	87	10%	141	58	119	9%	193	46
隠岐	12	1%	58	42	23	2%	112	37
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 32-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
島根県	113	0.9%	0.9	53	7	0.6%	0.1	47	83	0.8%	0.7	52
松江	38	34%	1.0	55	2	29%	0.1	47	30	36%	0.8	59
雲南	5	4%	0.4	40	0	0%	0	38	6	7%	0.5	41
出雲	26	23%	1.0	54	1	14%	0.0	44	22	27%	0.8	59
大田	7	6%	0.6	44	1	14%	0.1	51	8	10%	0.6	49
浜田	25	22%	1.6	68	0	0%	0	38	8	10%	0.5	43
益田	9	8%	0.7	47	1	14%	0.1	51	6	7%	0.5	41
隠岐	3	3%	0.7	46	2	29%	0.4	109	3	4%	0.7	51
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資\_図表 32-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
		シェア				シェア				シェア		
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
島根県	13,455	0.8%	111	54	8,676	0.9%	71	58	4,779	0.7%	39	48
松江	4,525	34%	124	62	2,519	29%	69	56	2,006	42%	55	58
雲南	1,209	9%	93	44	1,009	12%	78	63	200	4%	15	33
出雲	3,000	22%	114	56	1,652	19%	63	51	1,348	28%	51	55
大田	1,371	10%	108	53	1,027	12%	81	66	344	7%	27	40
浜田	1,585	12%	101	49	1,177	14%	75	61	408	9%	26	40
益田	1,337	10%	105	51	936	11%	74	60	401	8%	32	43
隠岐	428	3%	95	45	356	4%	79	64	72	2%	16	33
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 32-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
		シェア				シェア				シェア		
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
島根県	2,867	0.8%	24	52	5,377	1.0%	44	60	432	0.7%	3.6	49
松江	852	30%	23	51	1,558	29%	43	58	109	25%	3.0	48
雲南	191	7%	15	37	713	13%	55	71	105	24%	8.1	60
出雲	604	21%	23	50	1,048	19%	40	55	0	0%	0	40
大田	318	11%	25	54	640	12%	51	66	69	16%	5.5	54
浜田	480	17%	31	64	619	12%	40	55	78	18%	5.0	52
益田	352	12%	28	59	529	10%	42	57	55	13%	4.3	51
隠岐	70	2%	16	38	270	5%	60	76	16	4%	3.6	49
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	全国	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
		シェア				シェア				シェア		
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
島根県	926	0.4%	7.6	44	249	1.1%	2.1	53	1,945	1.0%	16.0	57
松江	330	36%	9.0	45	52	21%	1.4	50	680	35%	18.6	61
雲南	10	1%	0.8	38	0	0%	0	43	126	6%	9.7	46
出雲	363	39%	13.7	49	77	31%	2.9	57	522	27%	19.8	63
大田	50	5%	4.0	40	0	0%	0	43	167	9%	13.2	52
浜田	127	14%	8.1	44	0	0%	0	43	207	11%	13.2	52
益田	46	5%	3.6	40	120	48%	9.4	88	171	9%	13.4	52
隠岐	0	0%	0	37	0	0%	0	43	72	4%	16.0	57
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											



資\_図表 32-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
島根県	1,659	0.7%	13.7	49	90	0.6%	0.7	49	1,569	0.7%	12.9	49
松江	944	57%	25.8	66	50	56%	1.4	52	894	57%	24.5	66
雲南	64	4%	4.9	37	0	0%	0	44	64	4%	4.9	37
出雲	386	23%	14.6	50	40	44%	1.5	53	346	22%	13.1	49
大田	127	8%	10.0	44	0	0%	0	44	127	8%	10.0	45
浜田	74	4%	4.7	36	0	0%	0	44	74	5%	4.7	37
益田	64	4%	5.0	37	0	0%	0	44	64	4%	5.0	37
隠岐	0	0%	0	30	0	0%	0	44	0	0%	0	30
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 32-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
島根県	1,529	0.9%	12.6	60	1,173	1.0%	9.7	61	356	0.8%	2.9	51
松江	558	36%	15.3	71	416	35%	11.4	69	142	40%	3.9	61
雲南	180	12%	13.9	66	157	13%	12.1	73	23	7%	1.8	39
出雲	269	18%	10.2	50	182	16%	6.9	48	87	24%	3.3	54
大田	153	10%	12.1	58	119	10%	9.4	60	34	9%	2.7	48
浜田	178	12%	11.4	55	136	12%	8.7	56	42	12%	2.7	48
益田	149	10%	11.7	56	128	11%	10.1	63	21	6%	1.7	37
隠岐	41	3%	9.1	45	34	3%	7.7	51	7	2%	1.5	35
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
島根県	12,612	0.9%	104	61	11,071	0.9%	91	63	1,541	0.7%	12.7	48
松江	4,032	32%	110	66	3,403	31%	93	64	629	41%	17.2	56
雲南	1,165	9%	90	50	1,078	10%	83	56	87	6%	6.7	37
出雲	2,808	22%	106	63	2,511	23%	95	66	298	19%	11.3	45
大田	1,290	10%	102	59	1,165	11%	92	64	125	8%	9.9	43
浜田	1,683	13%	108	64	1,420	13%	91	62	264	17%	16.9	55
益田	1,108	9%	87	47	1,012	9%	80	53	97	6%	7.6	39
隠岐	524	4%	117	71	482	4%	108	77	42	3%	9.3	42
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											



資\_図表 32-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
島根県	9,049	0.8%	75	53	3,134	0.7%	26	48	9,422	0.6%	78	46
松江	2,424	27%	66	50	1,335	43%	37	57	3,446	37%	94	51
雲南	598	7%	46	44	229	7%	18	41	540	6%	42	34
出雲	1,534	17%	58	47	590	19%	22	45	1,791	19%	68	43
大田	1,833	20%	145	75	259	8%	20	44	973	10%	77	45
浜田	1,613	18%	103	62	492	16%	31	53	1,647	17%	105	54
益田	909	10%	71	52	182	6%	14	39	753	8%	59	40
隠岐	138	2%	31	39	47	1%	10	35	272	3%	61	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 32-28 総人口の推移と医療需要<sup>8</sup>の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
島根県		742,223	694,352	-6%	621,882	-16%	2%	-2%	0%
松江	地方都市型	254,635	245,758	-3%	227,905	-10%	5%	4%	9%
雲南	過疎地域型	66,194	57,126	-14%	49,737	-25%	-5%	-6%	-11%
出雲	地方都市型	173,751	171,938	-1%	156,545	-10%	8%	-1%	6%
大田	過疎地域型	63,882	54,609	-15%	46,218	-28%	-9%	-8%	-16%
浜田	過疎地域型	90,820	82,573	-9%	71,685	-21%	-1%	-6%	-8%
益田	過疎地域型	69,245	61,745	-11%	52,924	-24%	-1%	-6%	-7%
隠岐	過疎地域型	23,696	20,603	-13%	16,868	-29%	-5%	-6%	-11%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口・年齢(3区分)・割合・就業者数・昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資\_図表 32-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
島根県	59	7.9	52	52	7.5	52	-7	-12%	45
松江	21	8.2	53	16	6.5	50	-5	-24%	11
雲南	5	7.6	51	5	8.8	55	0	0%	5
出雲	9	5.2	45	11	6.4	49	2	22%	13
大田	5	7.8	52	4	7.3	52	-1	-20%	3
浜田	11	12.1	63	9	10.9	60	-2	-18%	7
益田	6	8.7	54	5	8.1	53	-1	-17%	4
隠岐	2	8.4	53	2	9.7	57	0	0%	2
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 32-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
島根県	770	104	64	723	104	63	-47	-6%	671
松江	254	100	62	245	100	61	-9	-4%	235
雲南	58	88	56	53	93	57	-5	-9%	48
出雲	172	99	61	163	95	58	-9	-5%	153
大田	85	133	78	72	132	78	-13	-15%	58
浜田	101	111	68	95	115	69	-6	-6%	88
益田	73	105	65	74	120	72	1	1%	75
隠岐	27	114	69	21	102	62	-6	-22%	14
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 32-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
島根県	1,895	255	55	1,947	280	54	52	3%	2,003
松江	624	245	54	647	263	52	23	4%	672
雲南	97	147	42	76	133	38	-21	-22%	53
出雲	677	390	71	776	451	72	99	15%	885
大田	119	186	47	101	185	44	-18	-15%	81
浜田	186	205	49	187	226	48	1	1%	188
益田	151	218	51	125	202	45	-26	-17%	96
隠岐	41	173	45	35	170	42	-6	-15%	28
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 32-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
島根県	13,046	176	56	11,548	166	56	-1,498	-11%	9,901
松江	4,880	192	59	4,289	175	57	-591	-12%	3,639
雲南	813	123	47	702	123	48	-111	-14%	580
出雲	2,772	160	53	2,890	168	56	118	4%	3,020
大田	992	155	52	819	150	53	-173	-17%	629
浜田	1,790	197	60	1,576	191	60	-214	-12%	1,341
益田	1,583	229	65	1,113	180	59	-470	-30%	596
隠岐	216	91	41	159	77	40	-57	-26%	96
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 32-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
島根県	7,471	101	56	6,811	98	57	-660	-9%	6,085	98
松江	2,712	107	58	2,618	107	60	-94	-3%	2,515	110
雲南	444	67	44	405	71	47	-39	-9%	362	73
出雲	1,800	104	57	1,795	104	60	-5	0%	1,790	114
大田	547	86	51	457	84	52	-90	-16%	358	77
浜田	999	110	59	791	96	56	-208	-21%	562	78
益田	821	119	62	634	103	59	-187	-23%	428	81
隠岐	148	62	42	111	54	41	-37	-25%	70	41
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 32-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
島根県	2,776	26	47	2,350	19	49	-426	-15%	1,882	14
松江	1,007	34	51	709	19	49	-298	-30%	381	8
雲南	215	18	42	193	15	45	-22	-10%	169	13
出雲	405	19	43	611	23	52	206	51%	838	28
大田	273	21	44	190	15	45	-83	-30%	99	8
浜田	317	22	44	371	24	52	54	17%	430	26
益田	535	48	59	252	20	49	-283	-53%	-59	-4
隠岐	24	5	35	24	5	37	0	0%	24	5
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

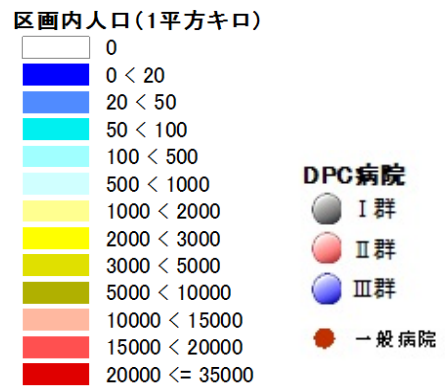
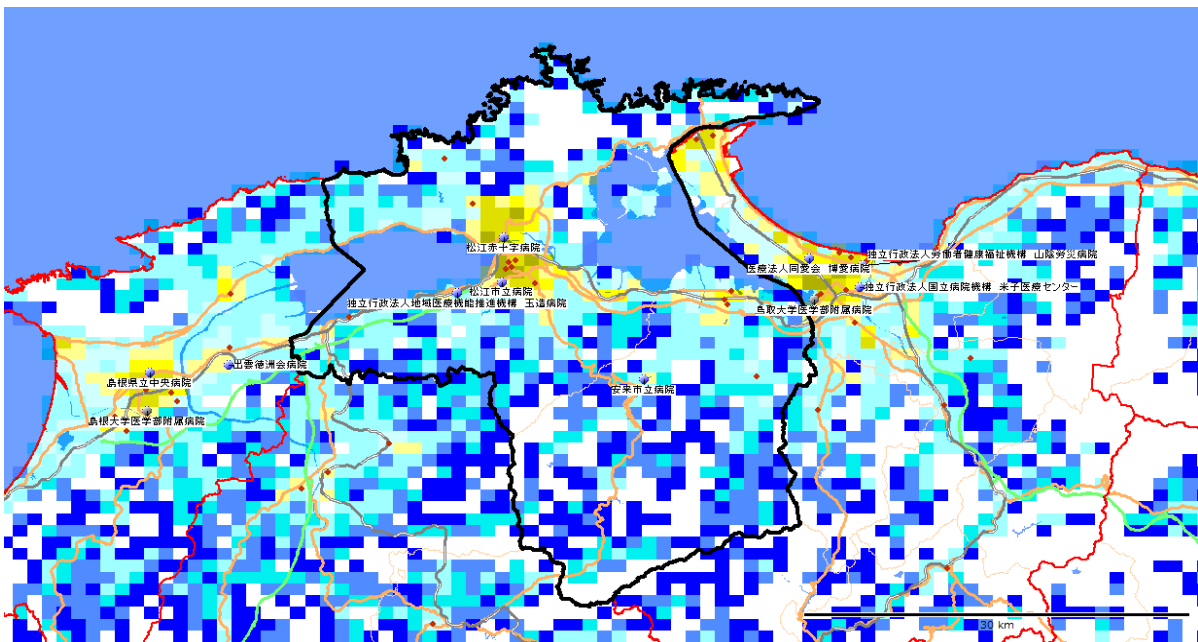
資\_図表 32-35 後期高齢者の医療費・地域差指数<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
										全国
島根県	906	48	0.961	468	51	0.990	414	43	0.944	
松江	910	48	0.960	481	52	1.016	402	41	0.910	
雲南	873	45	0.928	471	51	0.982	379	35	0.882	
出雲	915	49	0.967	467	51	0.986	426	46	0.967	
大田	916	49	0.955	467	51	0.949	424	46	0.976	
浜田	933	50	0.994	440	48	0.929	469	57	1.083	
益田	929	50	0.981	500	54	1.048	401	40	0.916	
隠岐	738	34	0.783	363	40	0.754	352	28	0.816	
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省									

# 32-1. まつえ 松江医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [松江市](#) [安来市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (松江医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 松江(松江市)は、総人口約246千人(2015年)、面積994km<sup>2</sup>、人口密度は247人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 松江の総人口は2025年に228千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に197千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて46千人へと増加し(2015年比+24%)、2040年には46千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 松江の一人当たり医療費(国保)は413千円(偏差値66)、介護給付費は293千円(偏差値61)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 松江の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.83、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.36で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が52(病院医師数50、診療所医師数56)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は58と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。松江には、年間全身麻酔件数が2000例以上の松江赤十字病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の松江市立病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値61と多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 松江の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4525人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2519床(偏差値56)、高齢者住宅等が2006床(偏差値58)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3403人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム45、軽費ホーム50、グループホーム61、サ高住66である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、629人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-3%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (松江医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

松江医療圏の総人口は、2005年254635人が、2015年に245758人と3%減少し、2025年の人口が227905人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

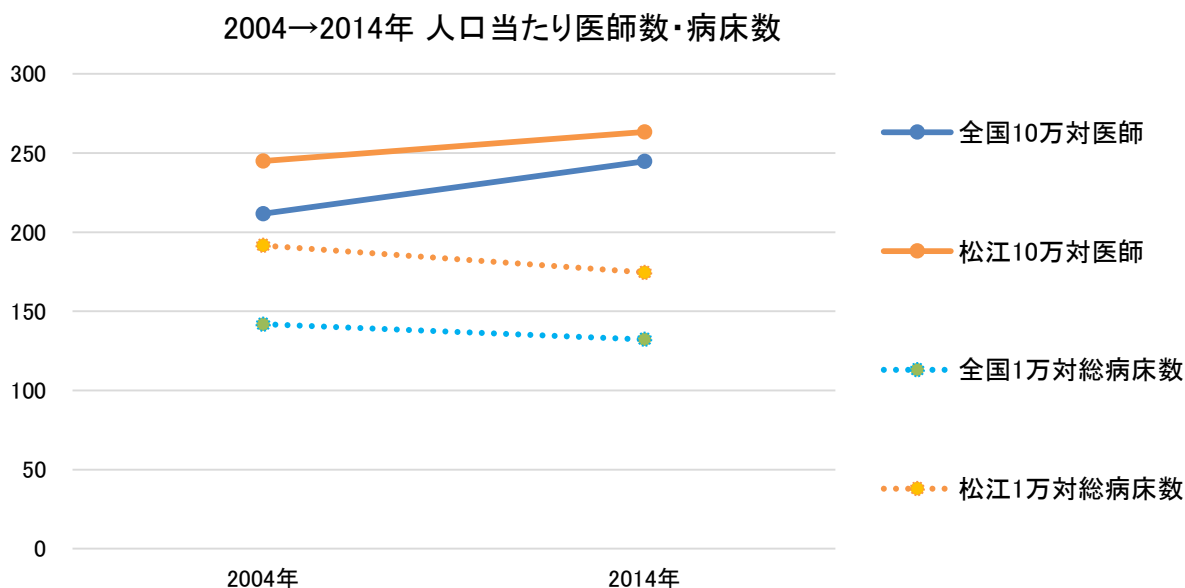
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が21(人口10万人当たり8.2病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2014年に16(人口10万人当たり6.5病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が254(人口10万人当たり100診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2014年に245(人口10万人当たり100診療所(全国平均79)偏差値61)と、9診療所が減少した。

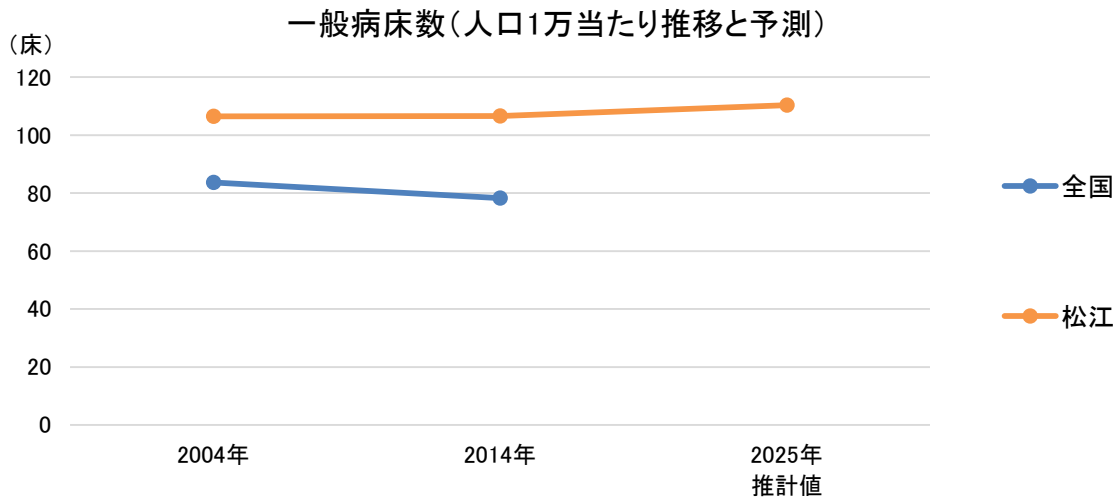
2004年の総病床数が4880床(人口1万人当たり192(全国平均142)偏差値59)であったが、2014年に4289床(人口1万人当たり175(全国平均132)偏差値57)と、591床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が624人(人口10万人当たり245人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2014年に647人(人口10万人当たり263人(全国平均245人)偏差値52)と、23人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



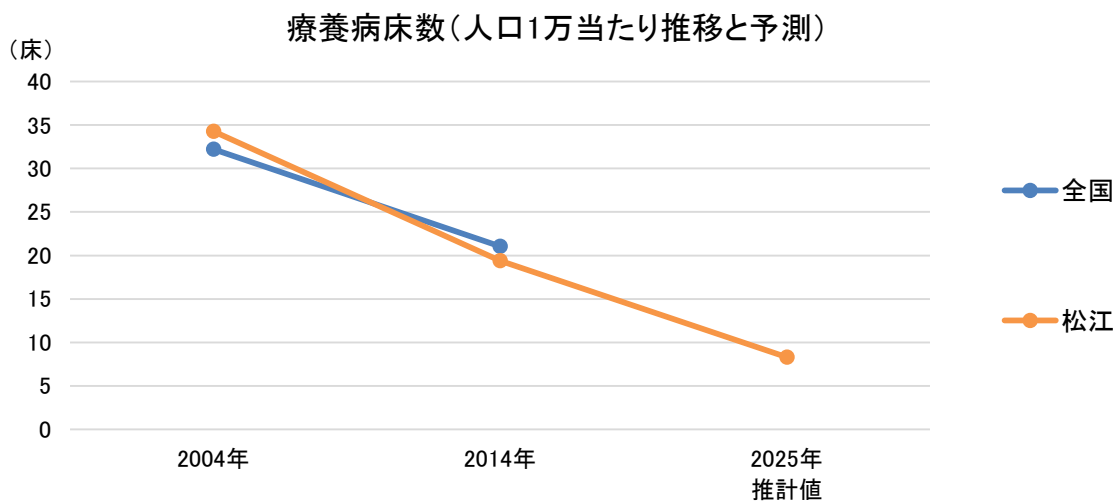
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2712床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2014年に2618床(人口1万人当たり107(全国平均78)偏差値60)と、94床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2515床(2025年の推計人口1万人当たり110)になることが予想される。



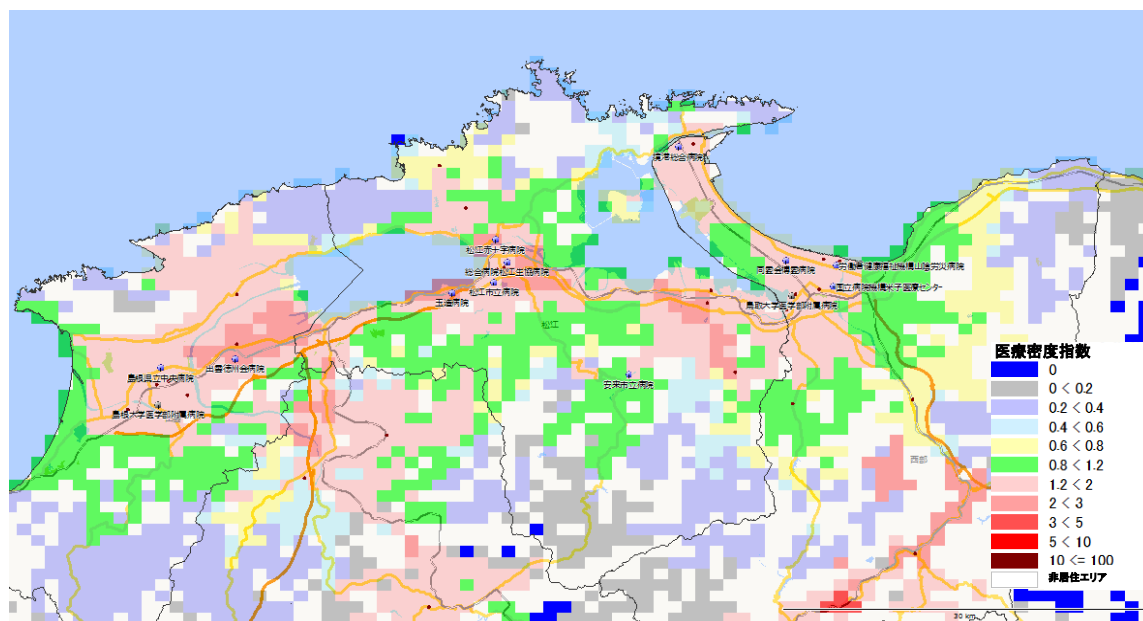
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1007床(75歳以上1000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2014年に709床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値49)と、298床の減少、率にして30%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には381床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



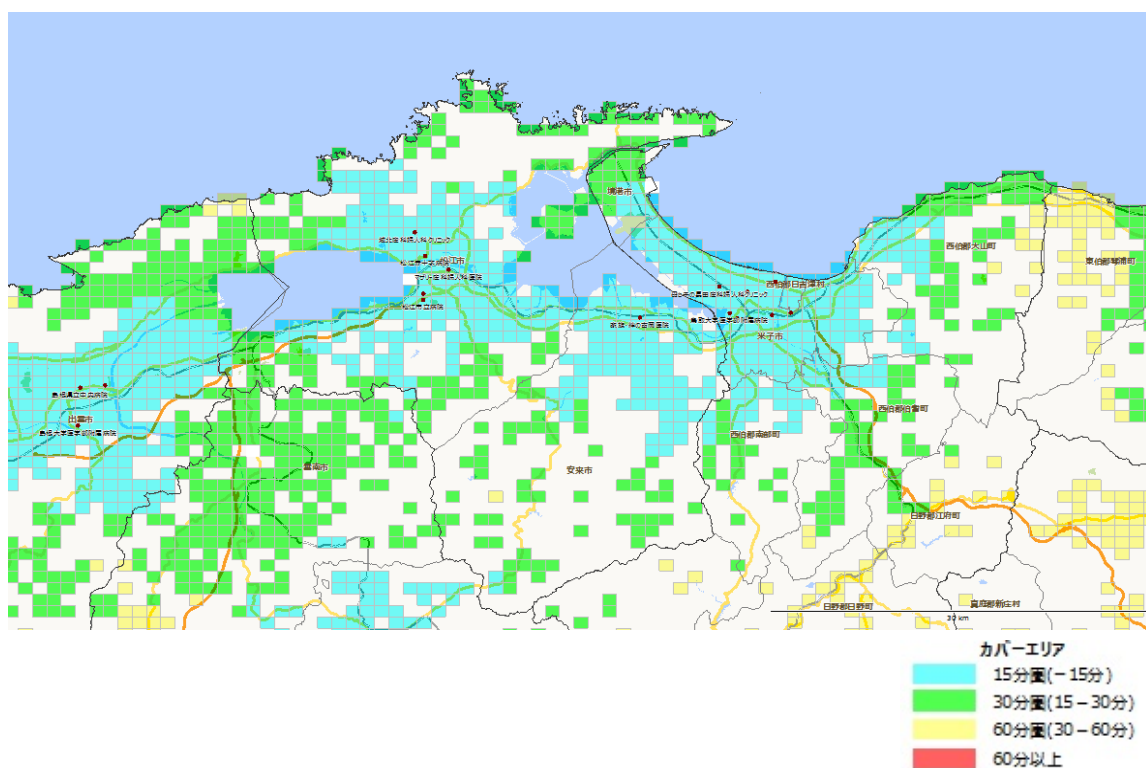
(松江医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表32-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

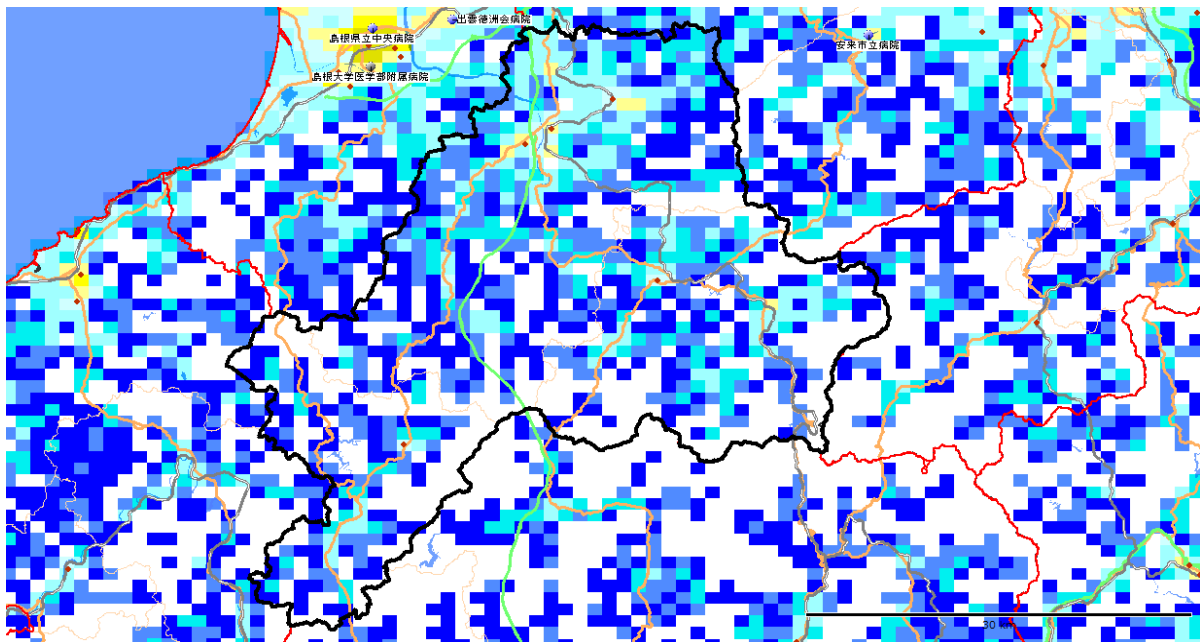




# 32-2. うんなん 雲南医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [雲南市](#)      [奥出雲町](#)      [飯南町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



## (雲南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 雲南(雲南市)は、総人口約57千人(2015年)、面積1164km<sup>2</sup>、人口密度は49人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 雲南の総人口は2025年に50千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に39千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて13千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には12千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 雲南の一人当たり医療費(国保)は439千円(偏差値72)、介護給付費は293千円(偏差値61)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 雲南の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.23で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が38(病院医師数38、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は34と非常に少ない。雲南には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 雲南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1209人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1009床(偏差値63)、高齢者住宅等が200床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1078人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム71、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住37である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、87人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (雲南医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

雲南医療圏の総人口は、2005年66194人が、2015年に57126人と14%減少し、2025年の人口が49737人と予測され、2005年→2025年の間に25%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

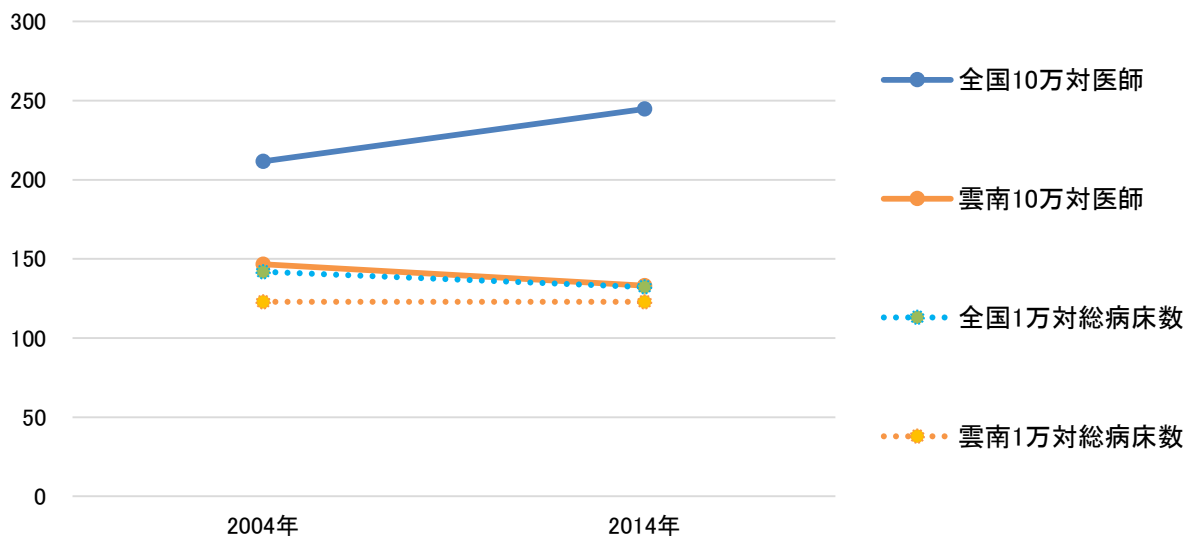
2004年の病院数が5(人口10万人当たり7.6病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2014年に5(人口10万人当たり8.8病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が58(人口10万人当たり88診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に53(人口10万人当たり93診療所(全国平均79)偏差値57)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が813床(人口1万人当たり123(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に702床(人口1万人当たり123(全国平均132)偏差値48)と、111床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

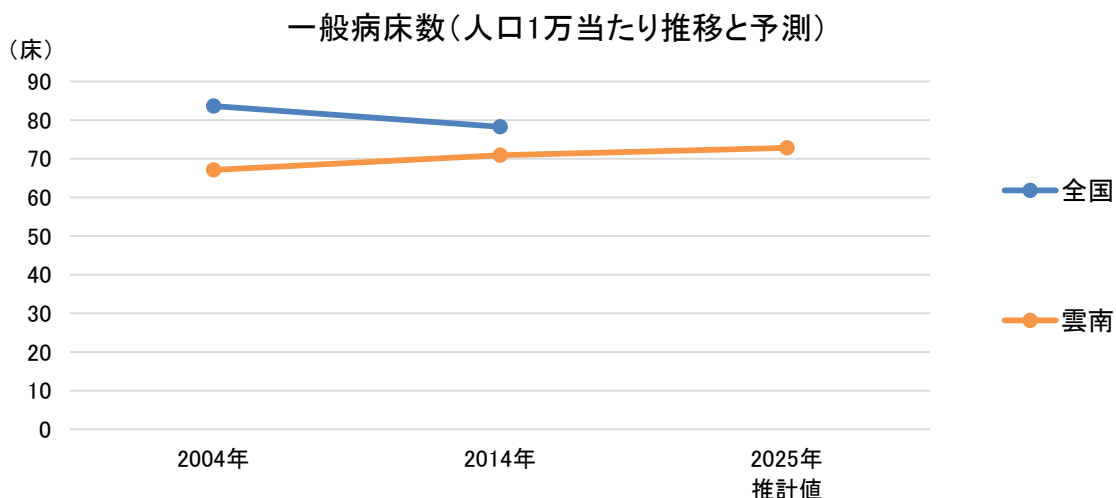
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が97人(人口10万人当たり147人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に76人(人口10万人当たり133人(全国平均245人)偏差値38)と、21人の減少、率にして22%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



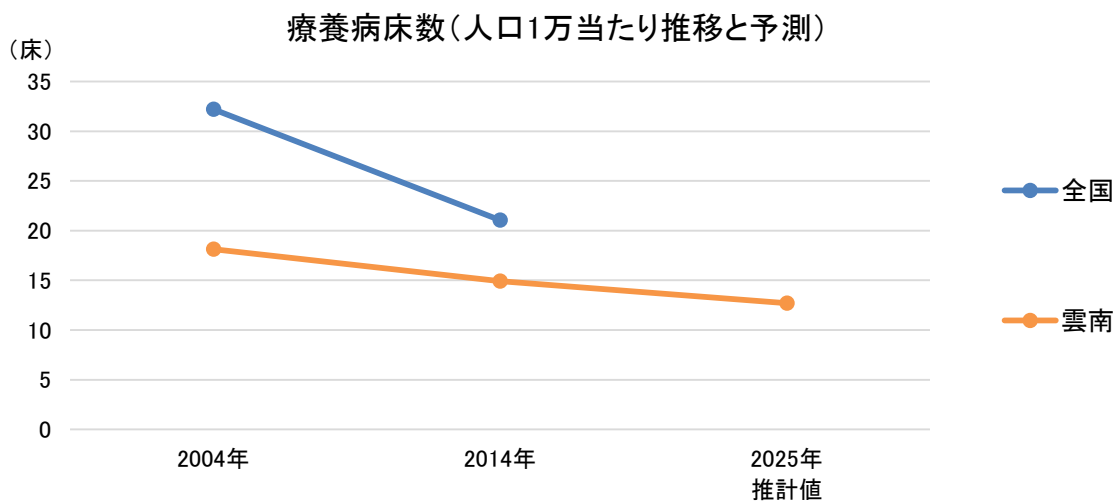
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が444床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に405床(人口1万人当たり71(全国平均78)偏差値47)と、39床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には362床(2025年の推計人口1万人当たり73)になることが予想される。



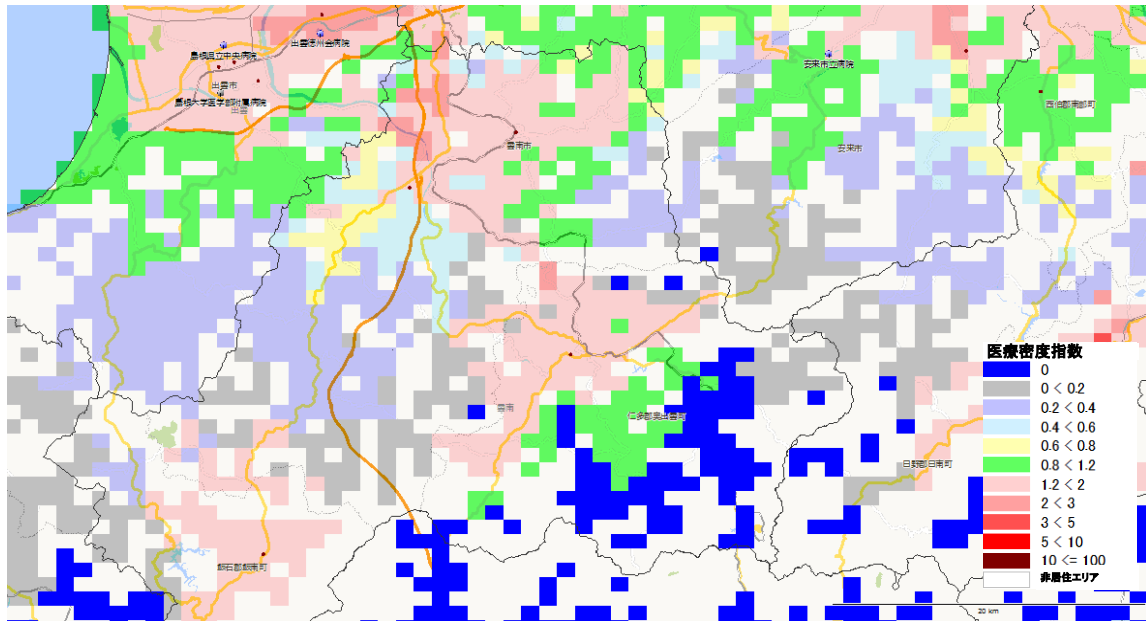
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が215床(75歳以上1000人当たり18(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に193床(75歳以上1000人当たり15(全国平均21)偏差値45)と、22床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には169床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



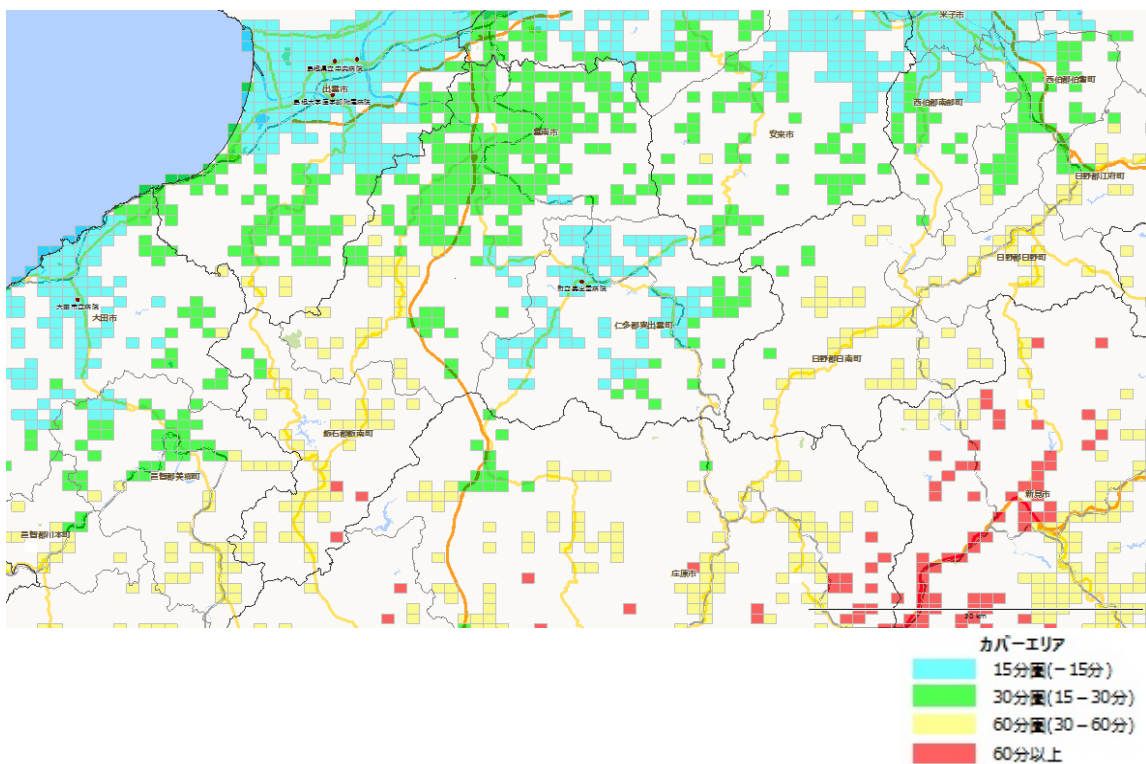
(雲南医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表32-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

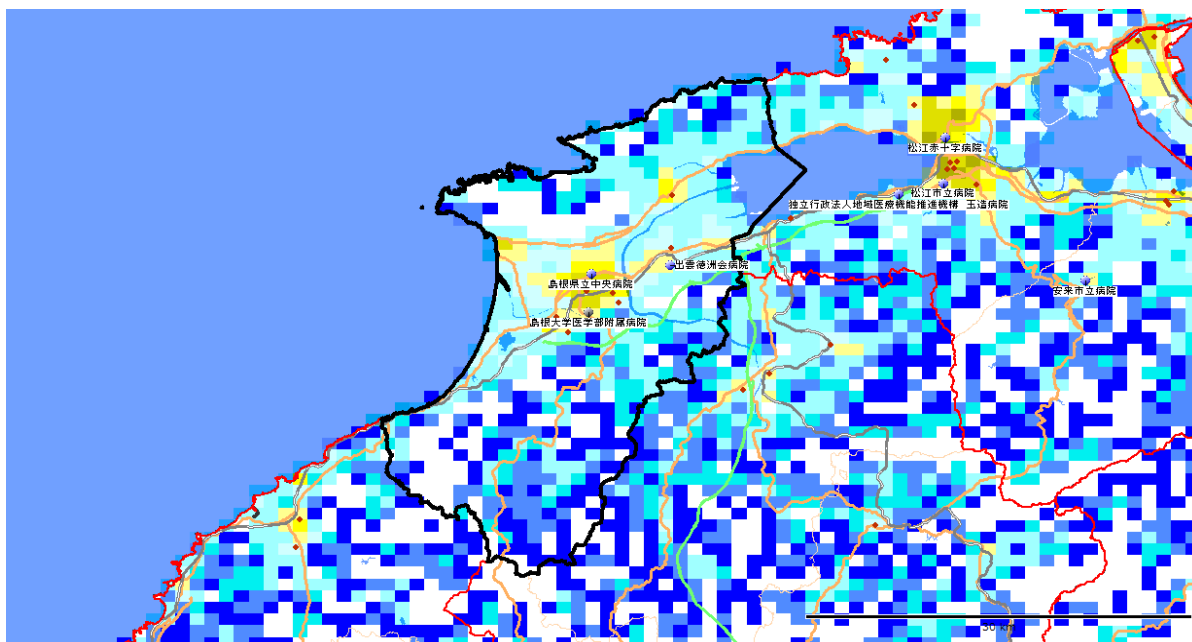
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 32-3. いづも 出雲医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [出雲市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



## (出雲医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 出雲(出雲市)は、総人口約172千人(2015年)、面積624km<sup>2</sup>、人口密度は275人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 出雲の総人口は2025年に157千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に138千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて30千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には30千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 出雲の一人当たり医療費(国保)は414千円(偏差値66)、介護給付費は298千円(偏差値63)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 出雲の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.17、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.31で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が70(病院医師数75、診療所医師数56)と、総医師数は非常に多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は66と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は67と非常に多い。出雲には、年間全身麻酔件数が2000例以上の島根大学医学部附属病院(I群・救命)、1000例以上の島根県立中央病院(III群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 出雲の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3000人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1652床(偏差値51)、高齢者住宅等が1348床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2511人(75歳以上1000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム49、軽費ホーム57、グループホーム63、サ高住50である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、298人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (出雲医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

出雲医療圏の総人口は、2005年173751人が、2015年に171938人と1%減少し、2025年の人口が156545人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

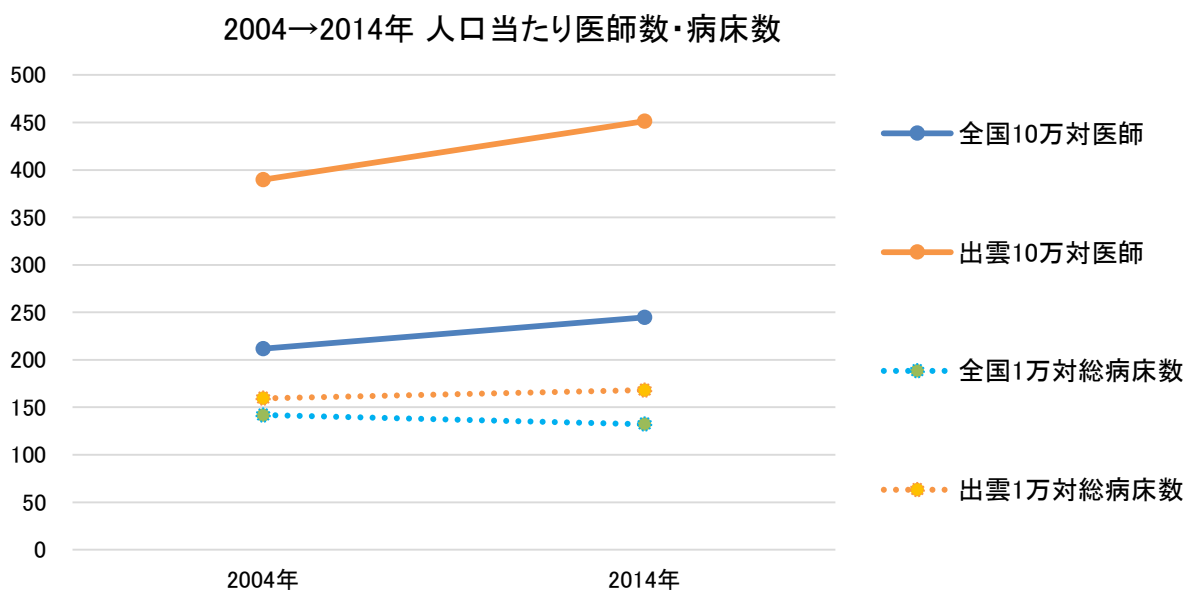
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9(人口10万人当たり5.2病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に11(人口10万人当たり6.4病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が172(人口10万人当たり99診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2014年に163(人口10万人当たり95診療所(全国平均79)偏差値58)と、9診療所が減少した。

2004年の総病床数が2772床(人口1万人当たり160(全国平均142)偏差値53)であったが、2014年に2890床(人口1万人当たり168(全国平均132)偏差値56)と、118床の増加、率にして4%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

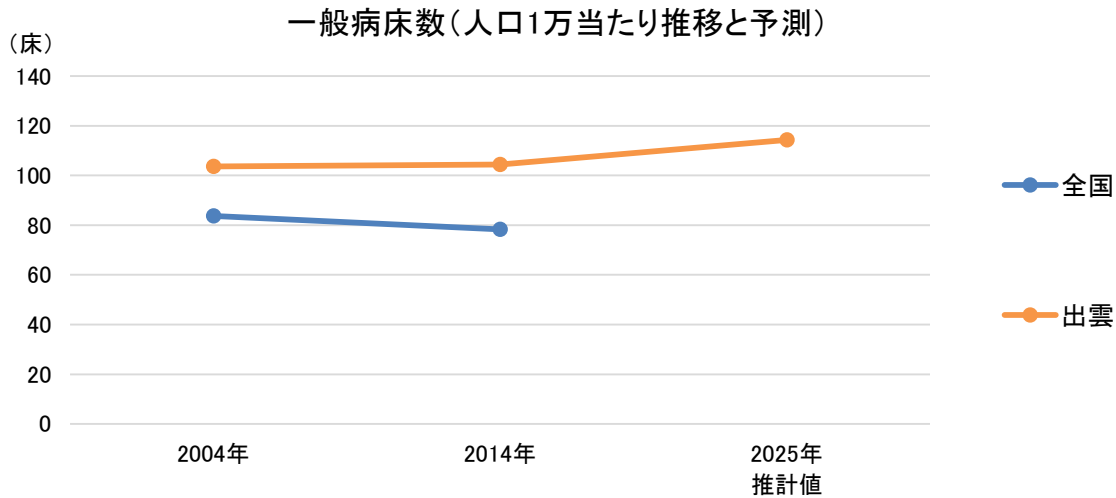
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が677人(人口10万人当たり390人(全国平均212人)偏差値71)であったが、2014年に776人(人口10万人当たり451人(全国平均245人)偏差値72)と、99人の増加、率にして15%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。





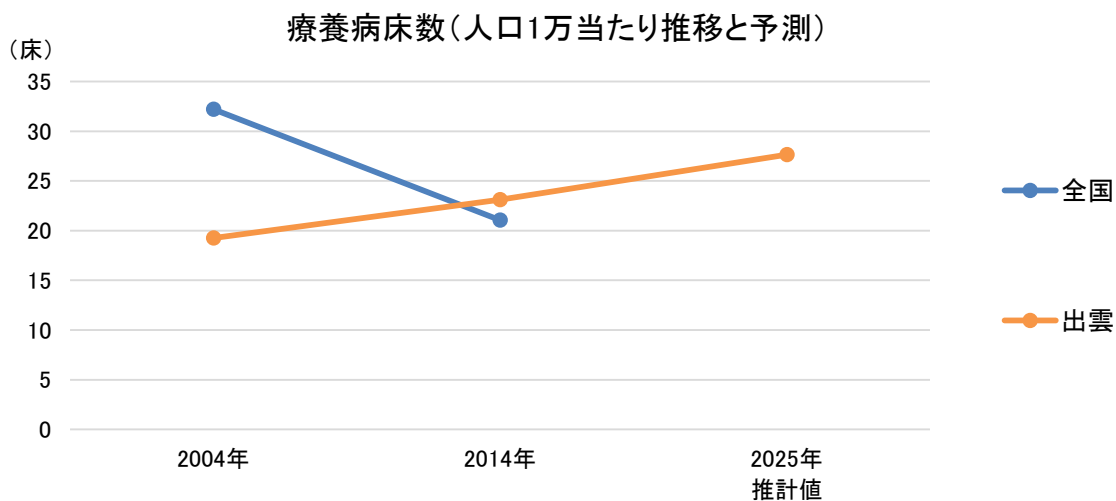
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1800床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に1795床(人口1万人当たり104(全国平均78)偏差値60)と、5床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1790床(2025年の推計人口1万人当たり114)になることが予想される。



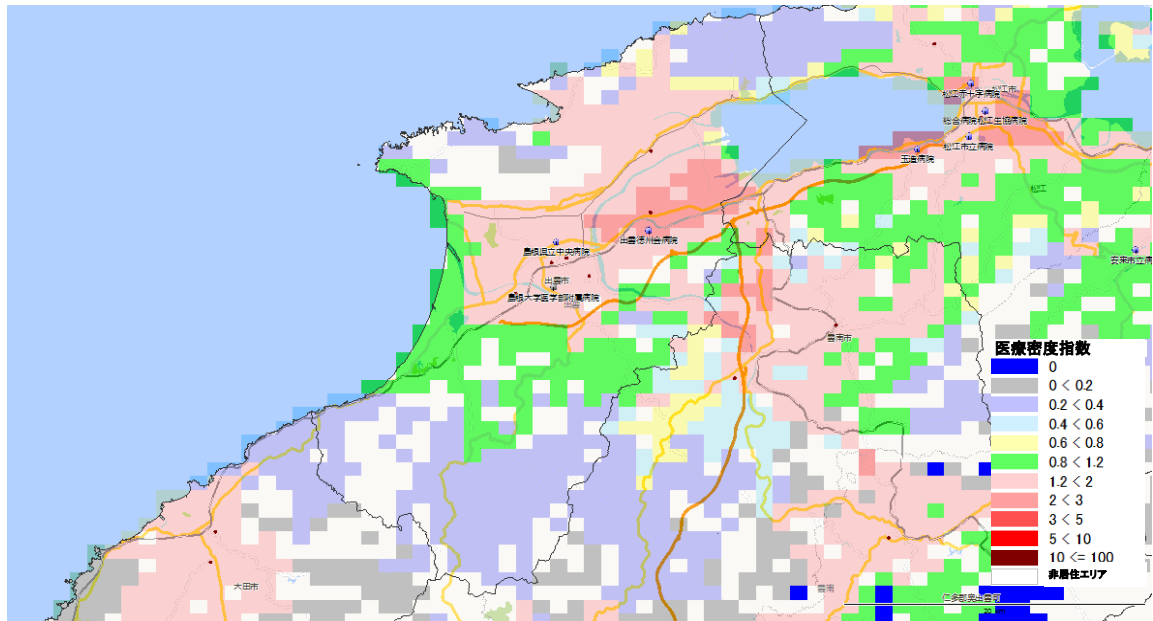
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が405床(75歳以上1000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に611床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、206床の増加、率にして51%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には838床(2025年の推計75歳以上1000人当たり28)になることが予想される。



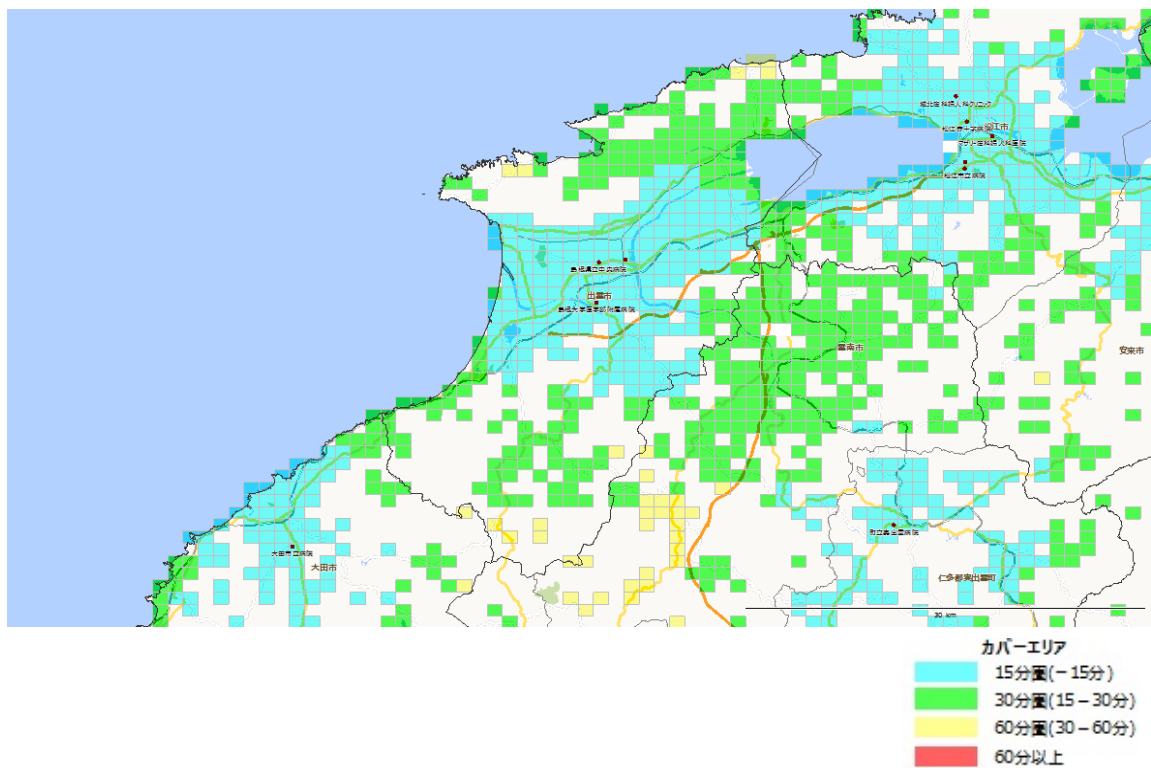
(出雲医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表32-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

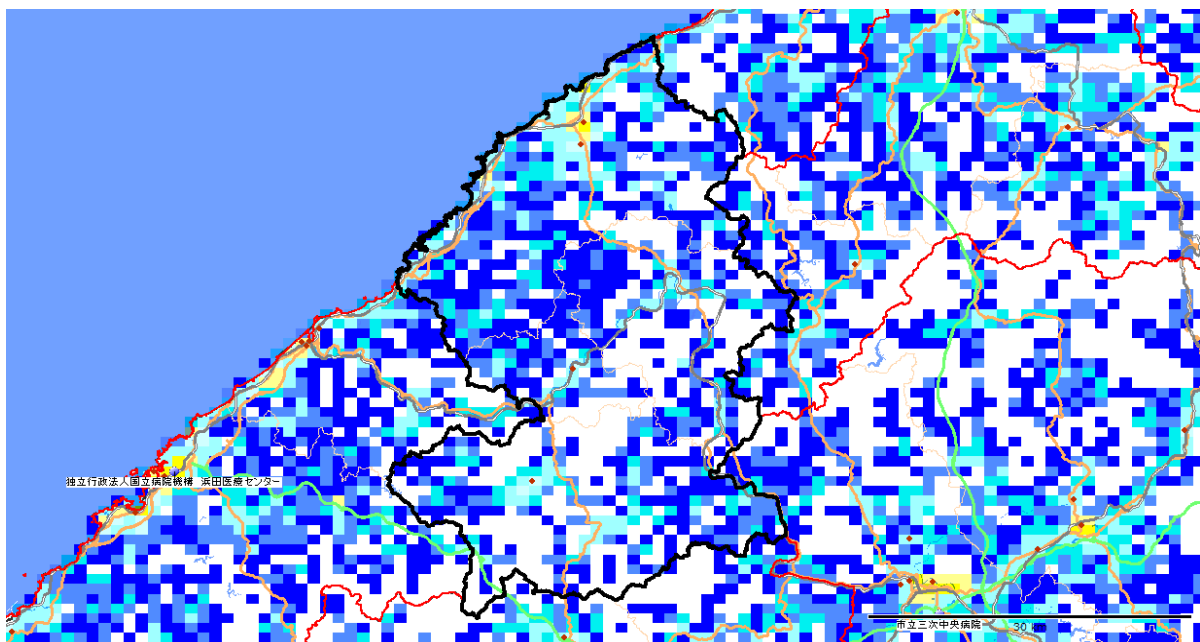
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



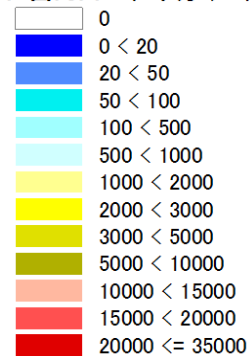
# 32-4. おおた 大田医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [大田市](#)      [川本町](#)      [美郷町](#)      [邑南町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (大田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 大田(大田市)は、総人口約55千人(2015年)、面積1244km<sup>2</sup>、人口密度は44人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 大田の総人口は2025年に46千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に36千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて13千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 大田の一人当たり医療費(国保)は455千円(偏差値75)、介護給付費は344千円(偏差値76)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 大田の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.82、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.24で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が46(病院医師数40、診療所医師数60)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多く、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は31と非常に少ない。大田には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は79で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 大田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1371人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1027床(偏差値66)、高齢者住宅等が344床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1165人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム66、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム52、サ高住44である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、125人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (大田医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

大田医療圏の総人口は、2005年63882人が、2015年に54609人と15%減少し、2025年の人口が46218人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に9%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

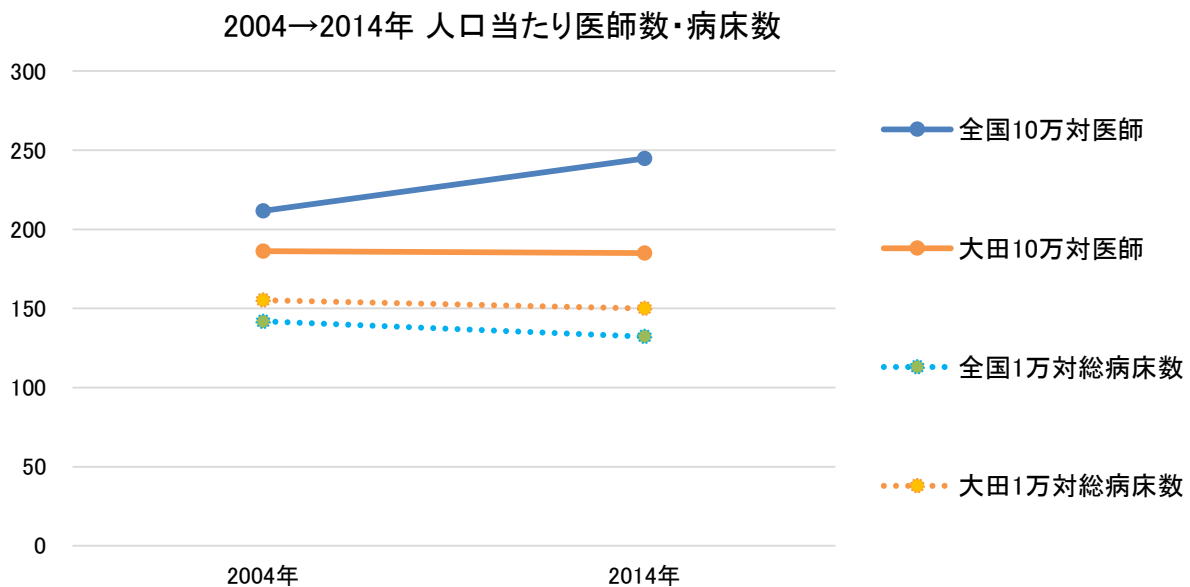
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が5(人口10万人当たり7.8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2014年に4(人口10万人当たり7.3病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が85(人口10万人当たり133診療所(全国平均76)偏差値78)であったが、2014年に72(人口10万人当たり132診療所(全国平均79)偏差値78)と、13診療所が減少した。

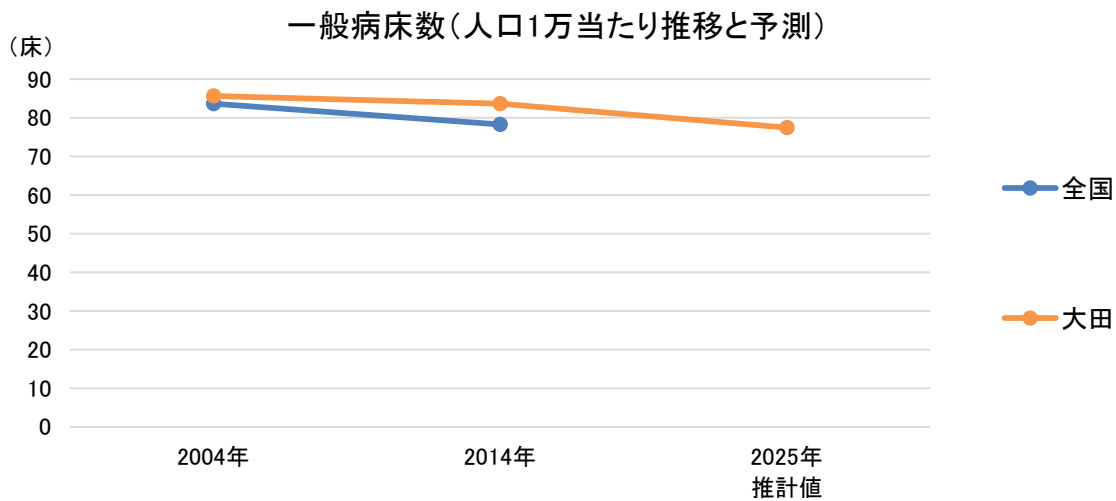
2004年の総病床数が992床(人口1万人当たり155(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に819床(人口1万人当たり150(全国平均132)偏差値53)と、173床の減少、率にして17%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が119人(人口10万人当たり186人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に101人(人口10万人当たり185人(全国平均245人)偏差値44)と、18人の減少、率にして15%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



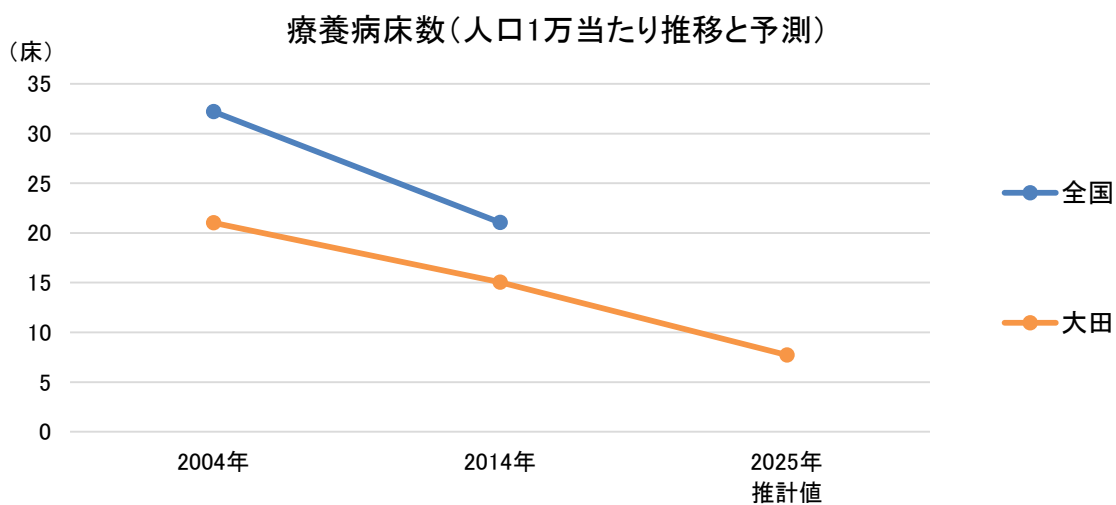
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が547床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に457床(人口1万人当たり84(全国平均78)偏差値52)と、90床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には358床(2025年の推計人口1万人当たり77)になることが予想される。



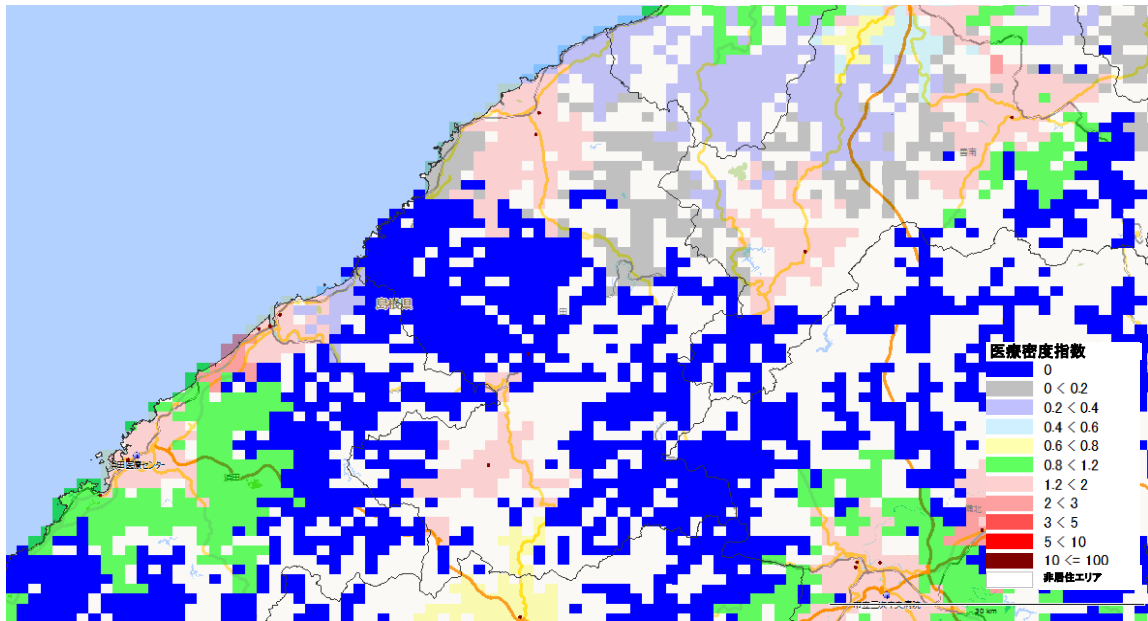
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が273床(75歳以上1000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2014年に190床(75歳以上1000人当たり15(全国平均21)偏差値45)と、83床の減少、率にして30%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には99床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



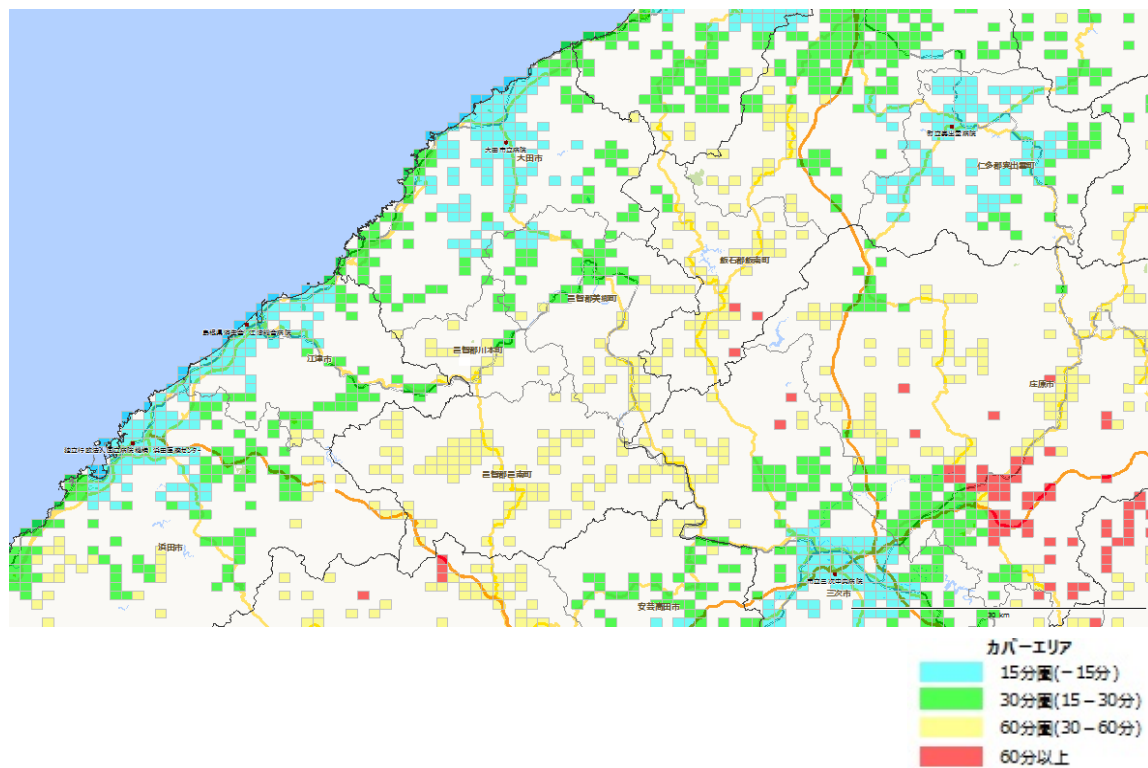
(大田医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表32-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

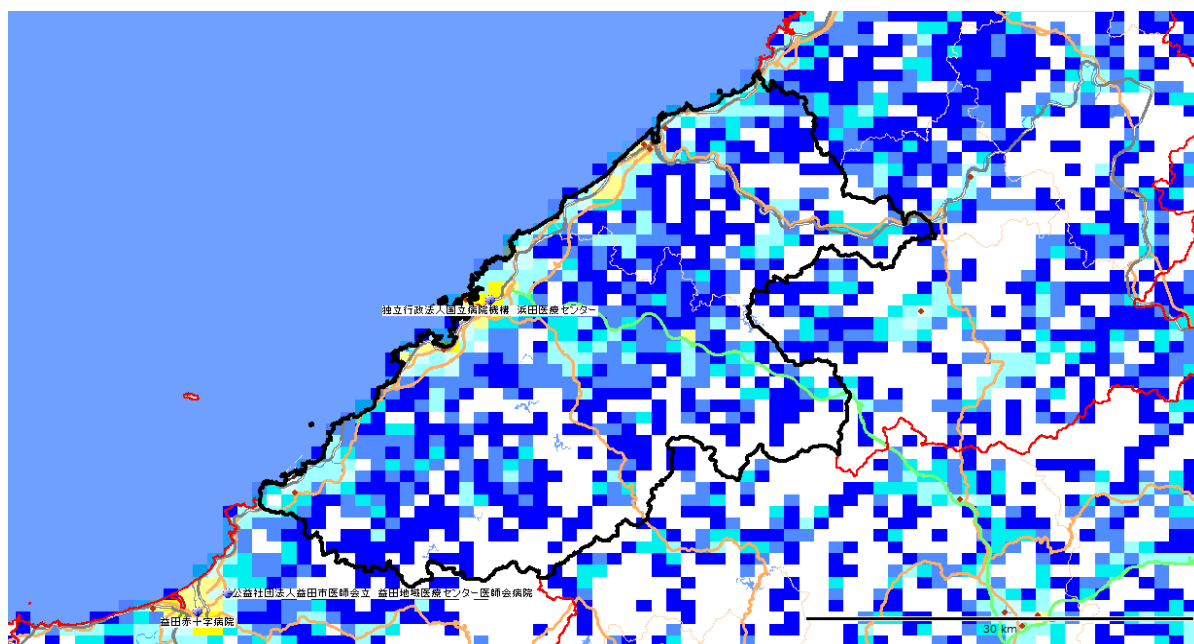


# 32-5. はまだ 浜田医療圏

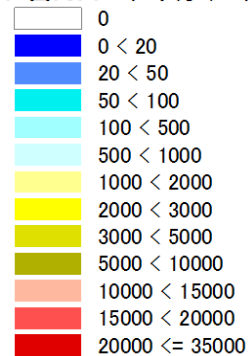
構成市区町村<sup>9</sup> [浜田市](#)

[江津市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院





## (浜田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 浜田(浜田市)は、総人口約83千人(2015年)、面積959km<sup>2</sup>、人口密度は86人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 浜田の総人口は2025年に72千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に57千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の16千人が、2025年にかけて16千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には15千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 浜田の一人当たり医療費(国保)は505千円(偏差値87)、介護給付費は355千円(偏差値79)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 浜田の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.25、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.9で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が47(病院医師数46、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は62と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。浜田には、年間全身麻酔件数が500例以上の国立病院機構浜田医療センター(Ⅲ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値61と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は68で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 浜田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1585人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1177床(偏差値61)、高齢者住宅等が408床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1420人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム52、サ高住36である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値68と非常に多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、264人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (浜田医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

浜田医療圏の総人口は、2005年90820人が、2015年に82573人と9%減少し、2025年の人口が71685人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

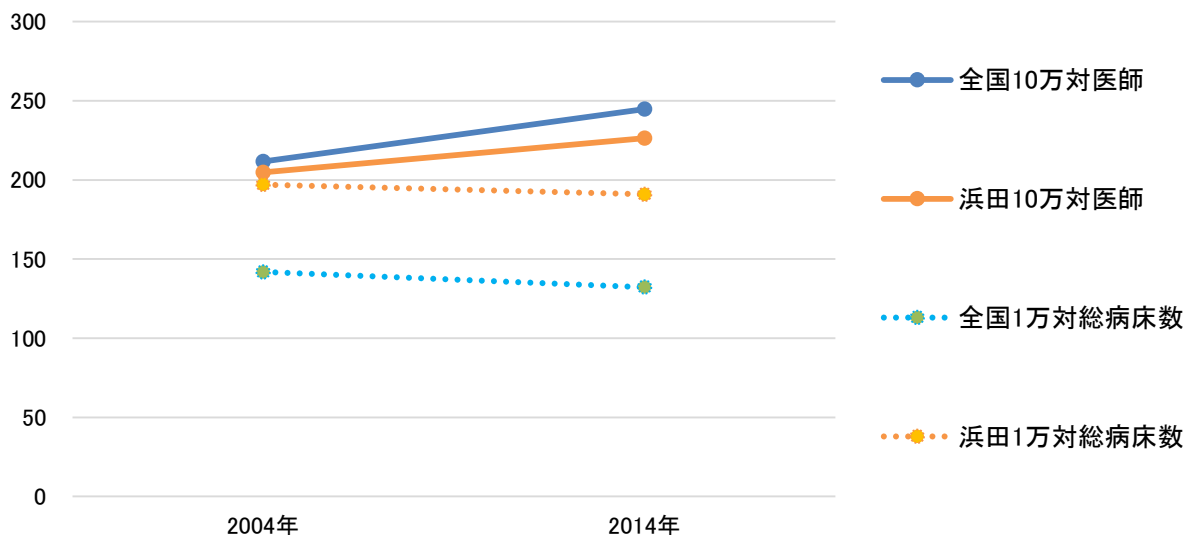
2004年の病院数が11(人口10万人当たり12.1病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2014年に9(人口10万人当たり10.9病院(全国平均6.7)偏差値60)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が101(人口10万人当たり111診療所(全国平均76)偏差値68)であったが、2014年に95(人口10万人当たり115診療所(全国平均79)偏差値69)と、6診療所が減少した。

2004年の総病床数が1790床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に1576床(人口1万人当たり191(全国平均132)偏差値60)と、214床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

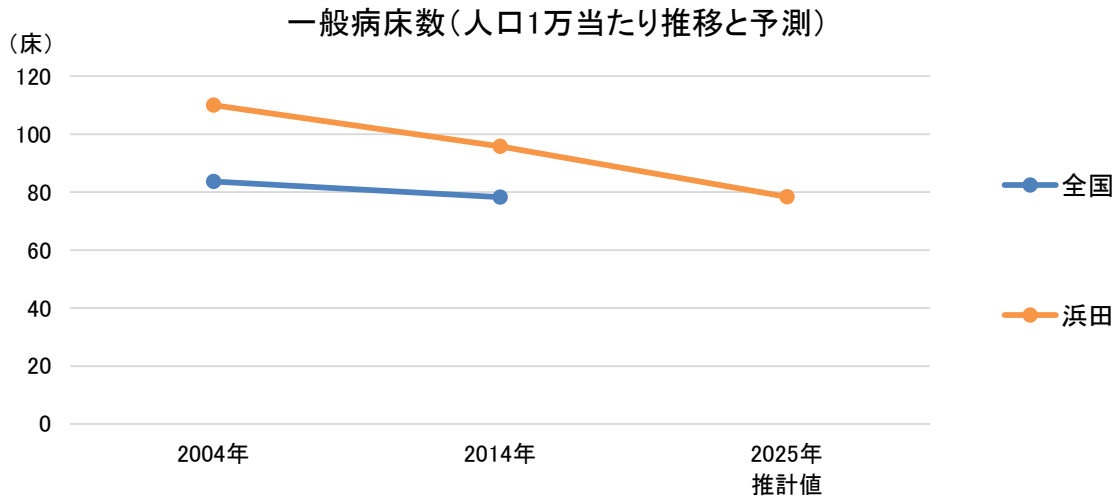
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が186人(人口10万人当たり205人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に187人(人口10万人当たり226人(全国平均245人)偏差値48)と、1人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



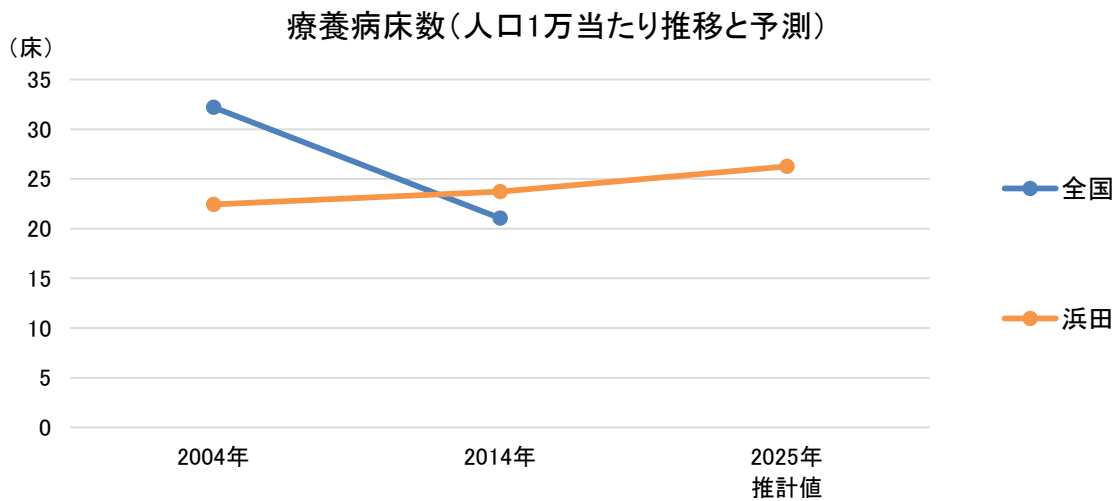
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が999床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に791床(人口1万人当たり96(全国平均78)偏差値56)と、208床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には562床(2025年の推計人口1万人当たり78)になることが予想される。



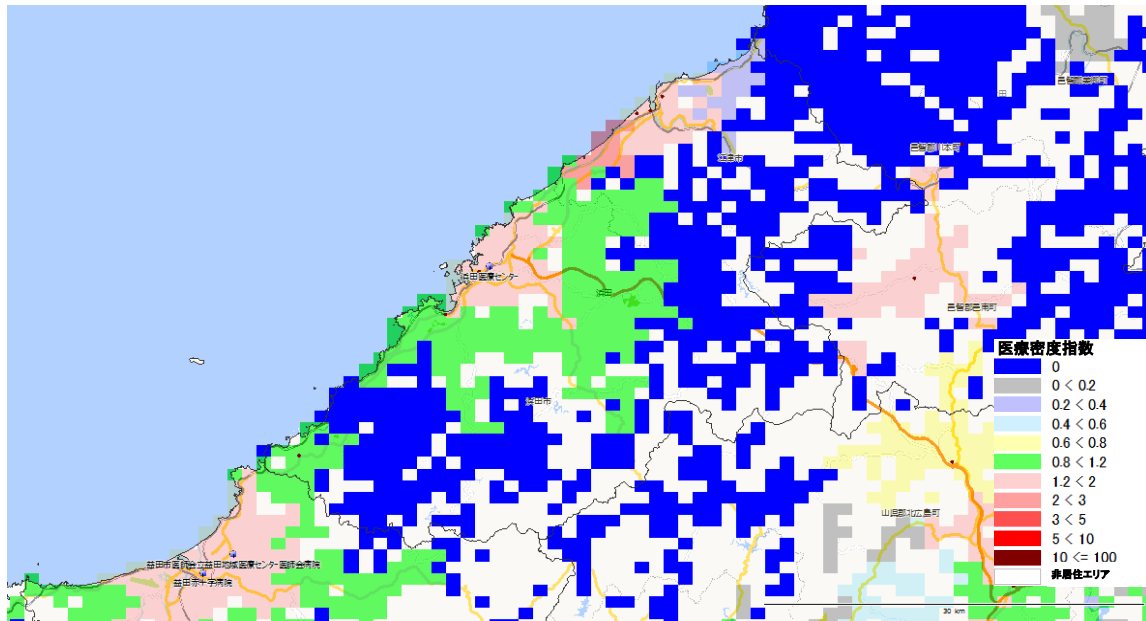
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が317床(75歳以上1000人当たり22(全国平均32)偏差値44)であったが、2014年に371床(75歳以上1000人当たり24(全国平均21)偏差値52)と、54床の増加、率にして17%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には430床(2025年の推計75歳以上1000人当たり26)になることが予想される。



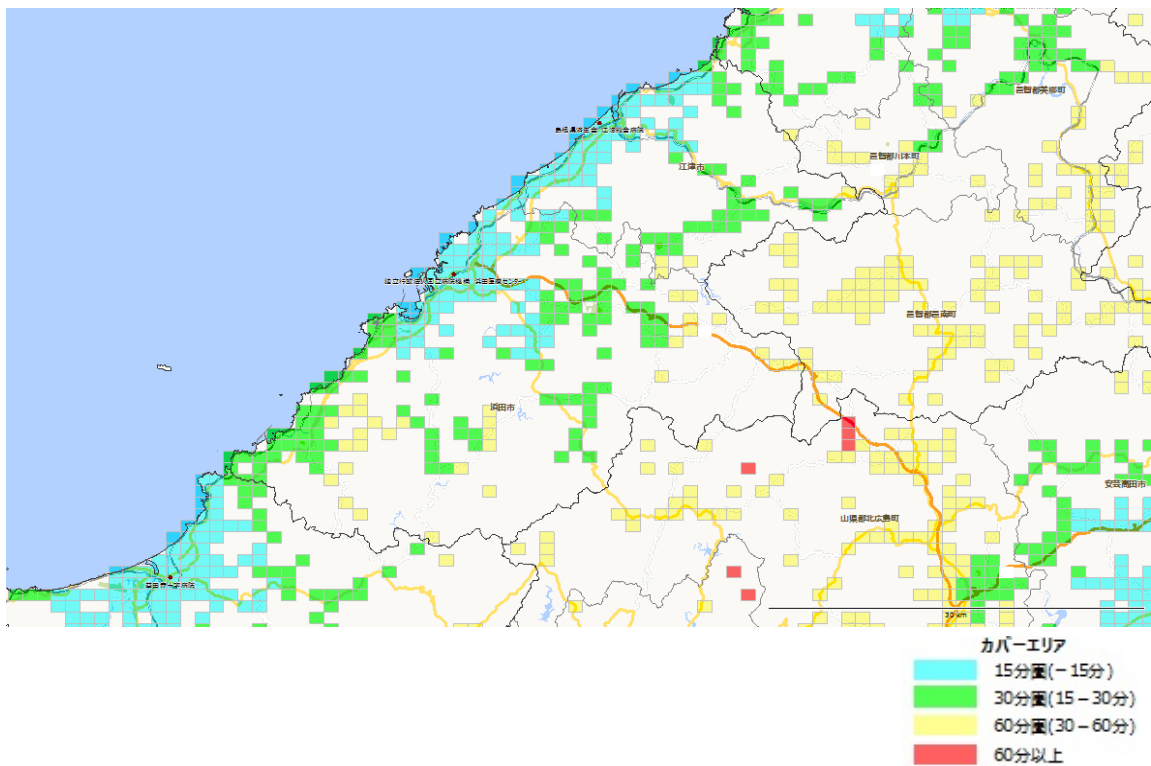
(浜田医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表32-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-5-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

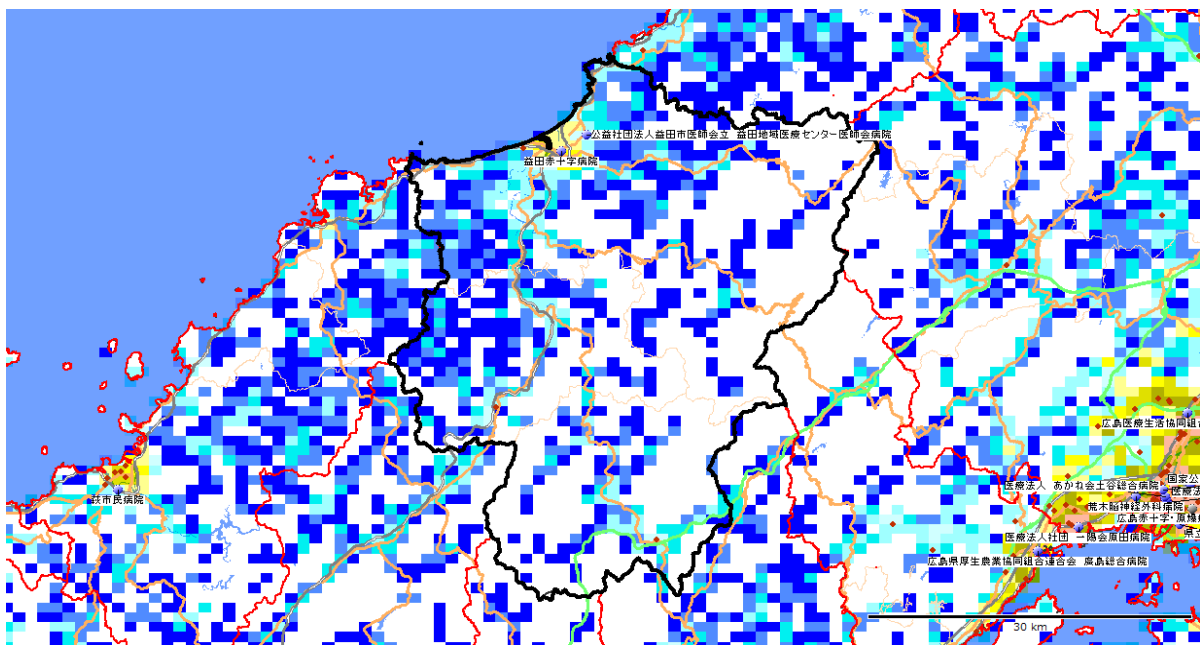
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 32-6. ますだ 益田医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [益田市](#)      [津和野町](#)      [吉賀町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (益田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 益田(益田市)は、総人口約62千人(2015年)、面積1377km<sup>2</sup>、人口密度は45人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 益田の総人口は2025年に53千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に41千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には12千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 益田の一人当たり医療費(国保)は415千円(偏差値66)、介護給付費は293千円(偏差値61)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 益田の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.9、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は3.02で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が51(病院医師数46、診療所医師数62)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は60と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。益田には、年間全身麻酔件数が500例以上の益田赤十字病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は71で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 益田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1337人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が936床(偏差値60)、高齢者住宅等が401床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1012人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム40、軽費ホーム88、グループホーム52、サ高住37である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、97人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (益田医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

益田医療圏の総人口は、2005年69245人が、2015年に61745人と11%減少し、2025年の人口が52924人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

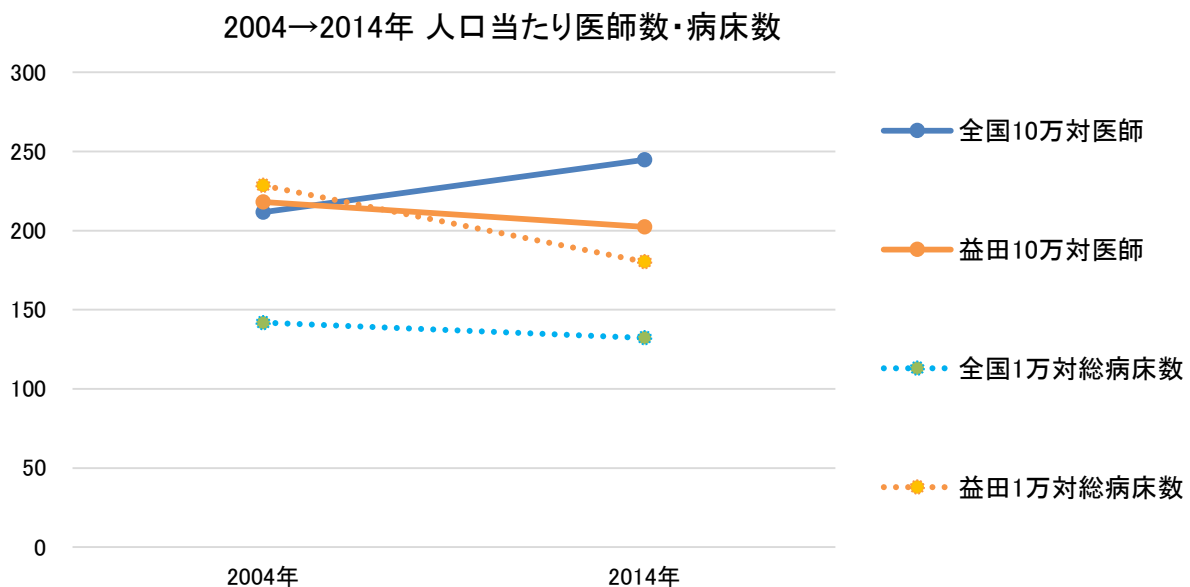
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に5(人口10万人当たり8.1病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が73(人口10万人当たり105診療所(全国平均76)偏差値65)であったが、2014年に74(人口10万人当たり120診療所(全国平均79)偏差値72)と、1診療所が増加した。

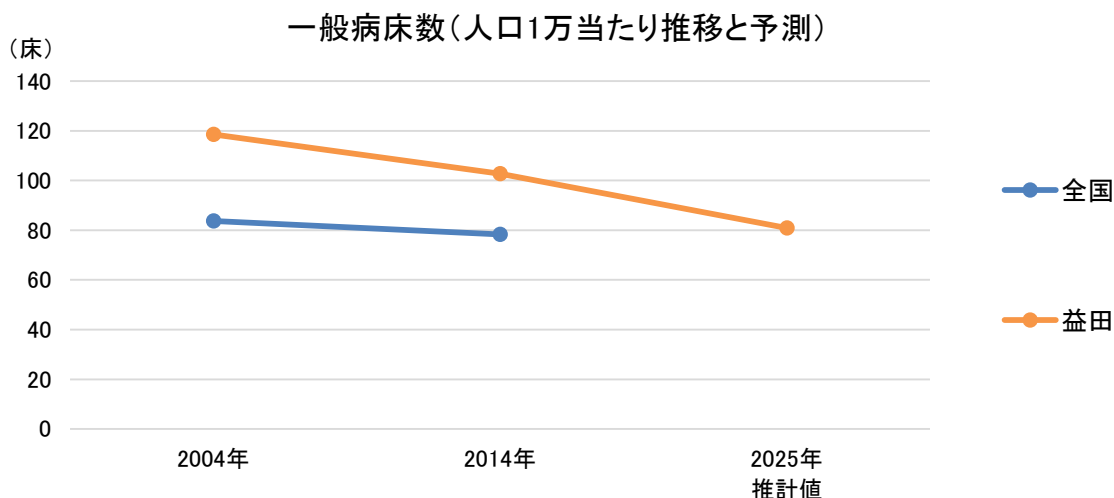
2004年の総病床数が1583床(人口1万人当たり229(全国平均142)偏差値65)であったが、2014年に1113床(人口1万人当たり180(全国平均132)偏差値59)と、470床の減少、率にして30%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が151人(人口10万人当たり218人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に125人(人口10万人当たり202人(全国平均245人)偏差値45)と、26人の減少、率にして17%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



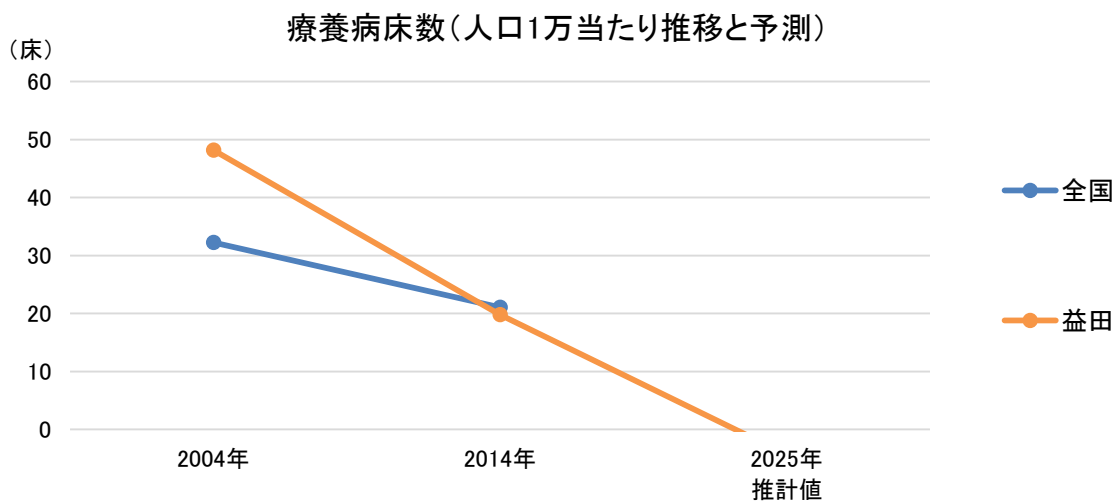
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が821床(人口1万人当たり119(全国平均84)偏差値62)であったが、2014年に634床(人口1万人当たり103(全国平均78)偏差値59)と、187床の減少、率にして23%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には428床(2025年の推計人口1万人当たり81)になることが予想される。



### 【療養病床の推移と今後の予測】

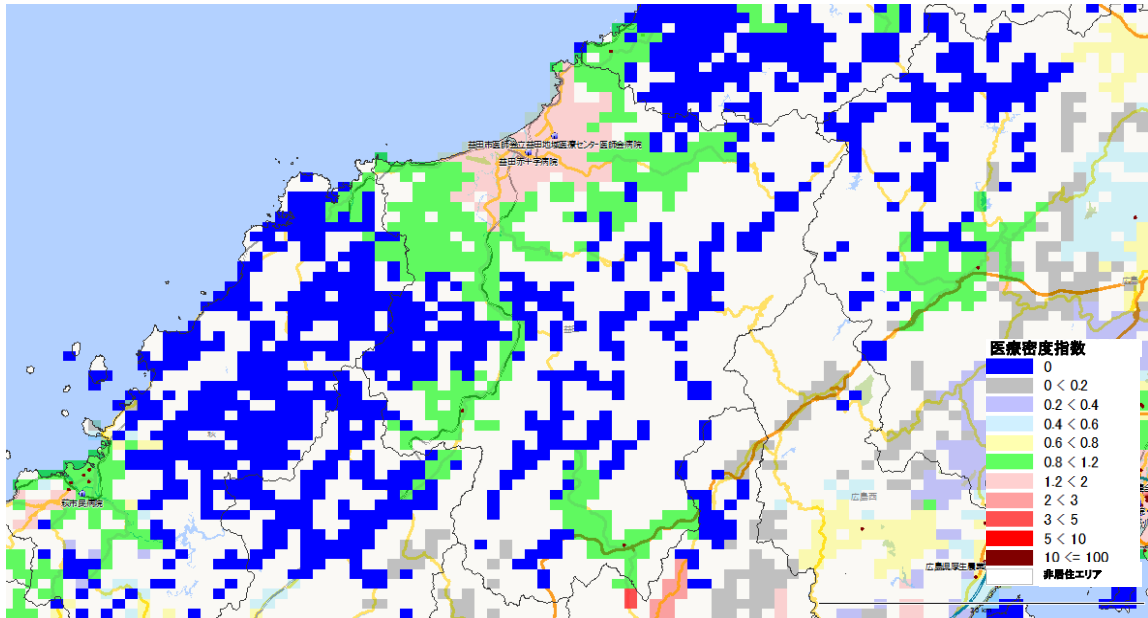
2004年の療養病床(病院+診療所)が535床(75歳以上1000人当たり48(全国平均32)偏差値59)であったが、2014年に252床(75歳以上1000人当たり20(全国平均21)偏差値49)と、283床の減少、率にして53%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には-59床(2025年の推計75歳以上1000人当たり-4)になることが予想される。





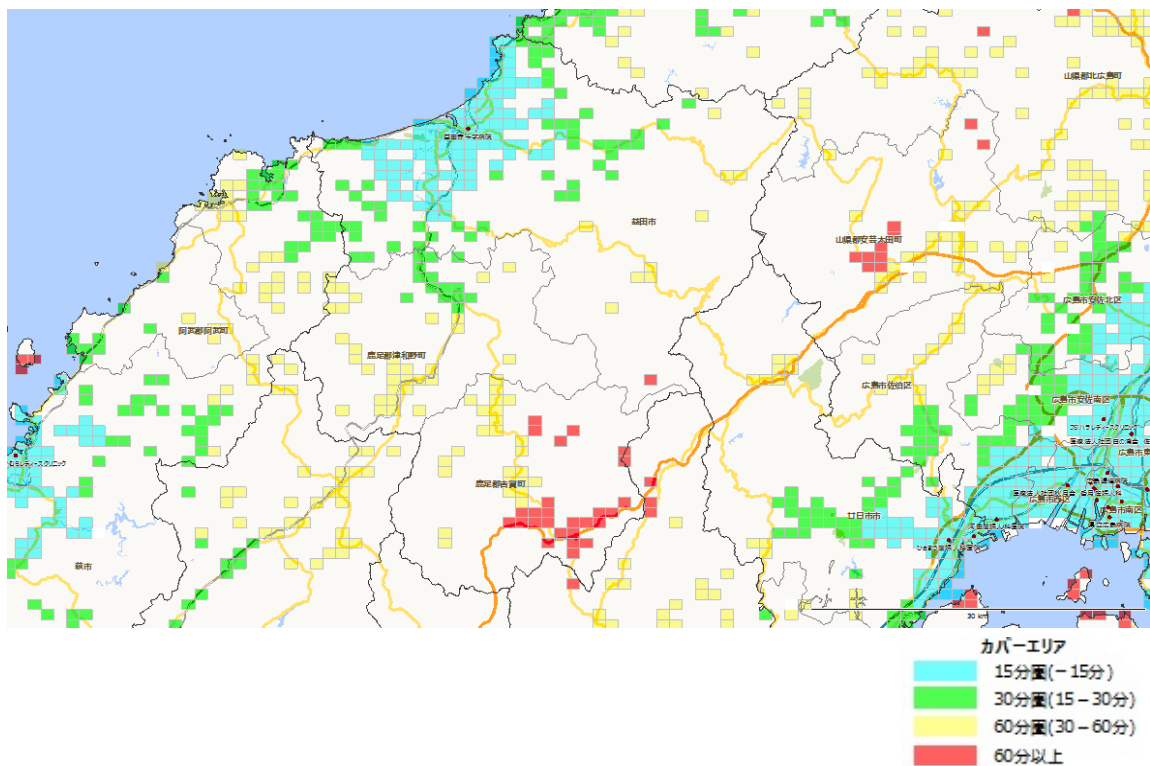
(益田医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表32-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

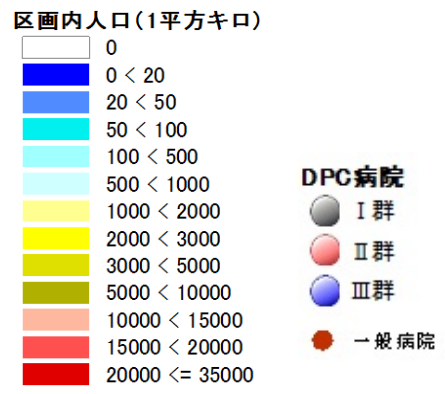
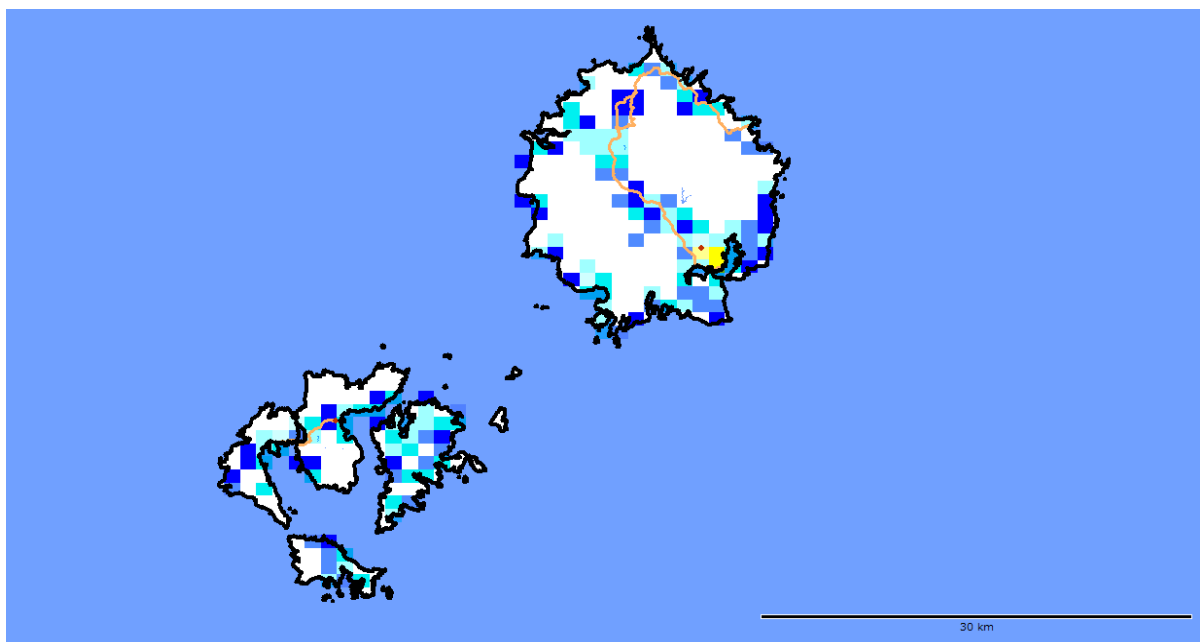
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 32-7. おき 隠岐医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [海士町](#)      [西ノ島町](#)      [知夫村](#)      [隠岐の島町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (隠岐医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 隠岐(隠岐郡海士町)は、総人口約21千人(2015年)、面積346km<sup>2</sup>、人口密度は60人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 隠岐の総人口は2025年に17千人へと減少し(2015年比-19%)、2040年に13千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の4千人が、2025年にかけて5千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には4千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 隠岐の一人当たり医療費(国保)は404千円(偏差値64)、介護給付費は348千円(偏差値77)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 隠岐の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.5、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.69で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が38(病院医師数41、診療所医師数36)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。隠岐には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 隠岐の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、428人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が356床(偏差値64)、高齢者住宅等が72床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、482人(75歳以上1000人当たりの偏差値77)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設38、特別養護老人ホーム76、介護療養型医療施設49、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム57、サ高住なし(偏差値30)である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値109と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、42人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (隠岐医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

隠岐医療圏の総人口は、2005年23696人が、2015年に20603人と13%減少し、2025年の人口が16868人と予測され、2005年→2025年の間に29%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

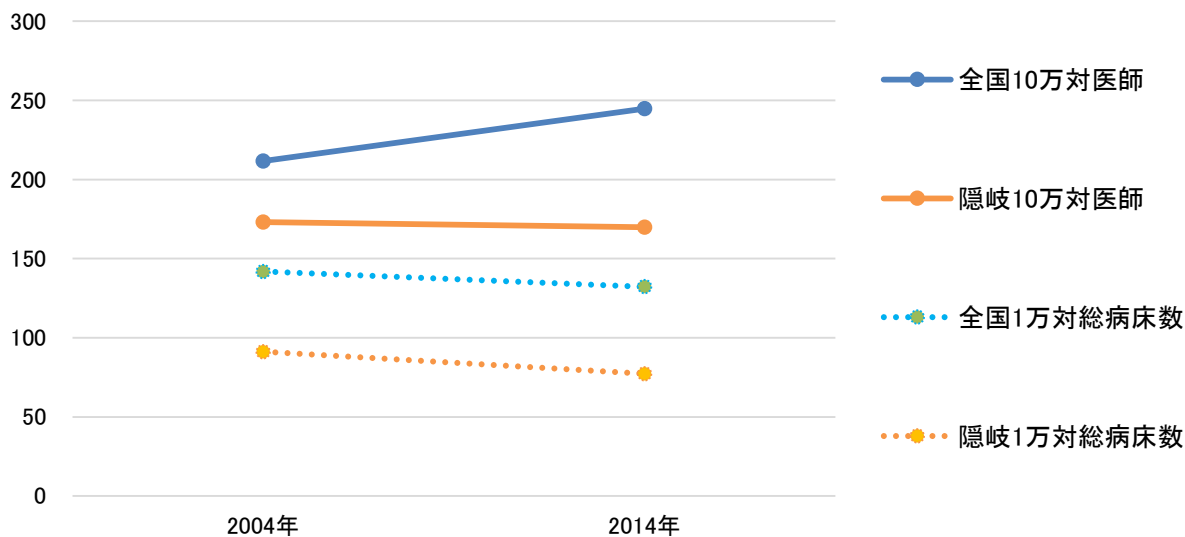
2004年の病院数が2(人口10万人当たり8.4病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2014年に2(人口10万人当たり9.7病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が27(人口10万人当たり114診療所(全国平均76)偏差値69)であったが、2014年に21(人口10万人当たり102診療所(全国平均79)偏差値62)と、6診療所が減少した。

2004年の総病床数が216床(人口1万人当たり91(全国平均142)偏差値41)であったが、2014年に159床(人口1万人当たり77(全国平均132)偏差値40)と、57床の減少、率にして26%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

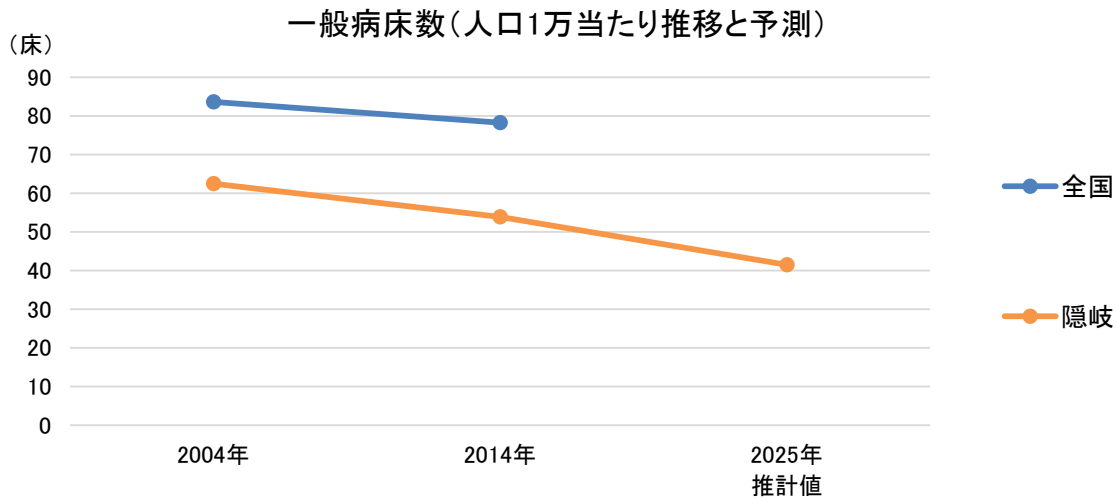
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が41人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に35人(人口10万人当たり170人(全国平均245人)偏差値42)と、6人の減少、率にして15%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



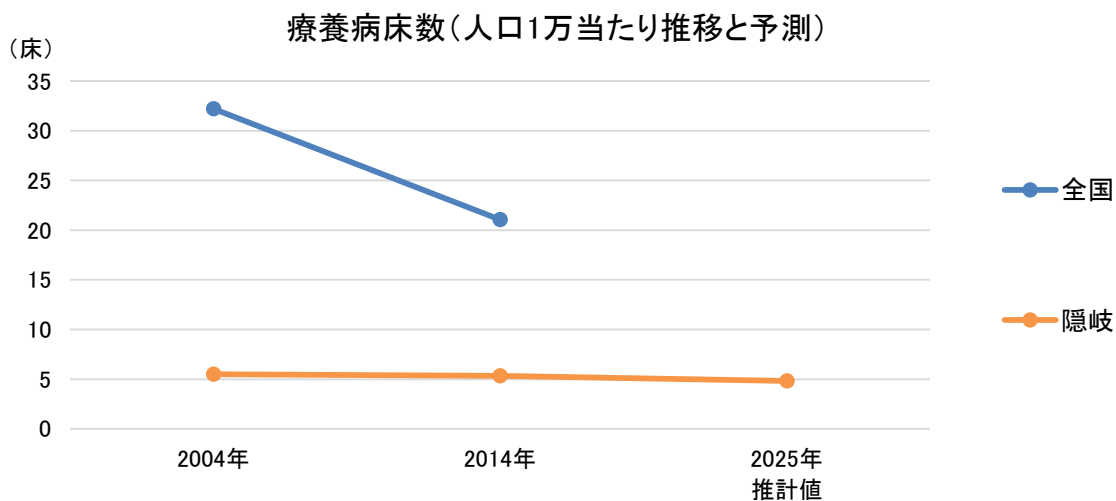
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が148床(人口1万人当たり62(全国平均84)偏差値42)であったが、2014年に111床(人口1万人当たり54(全国平均78)偏差値41)と、37床の減少、率にして25%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には70床(2025年の推計人口1万人当たり41)になることが予想される。



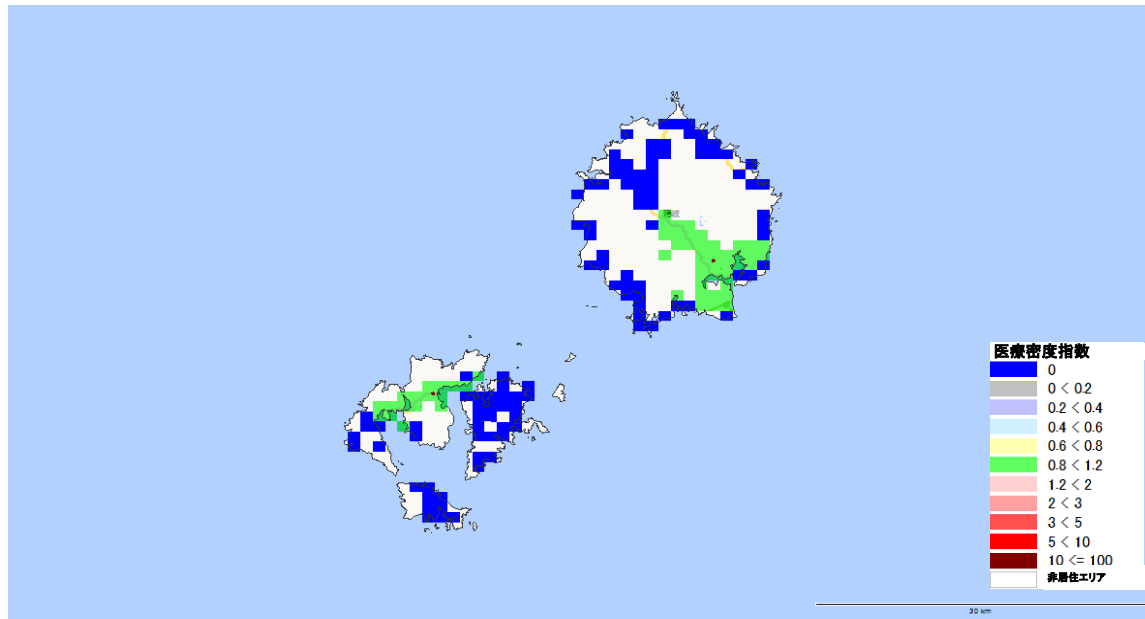
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が24床(75歳以上1000人当たり5(全国平均32)偏差値35)であったが、2014年に24床(75歳以上1000人当たり5(全国平均21)偏差値37)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。この調子で増減なしが続くとすると2025年には24床(2025年の推計75歳以上1000人当たり5)になることが予想される。



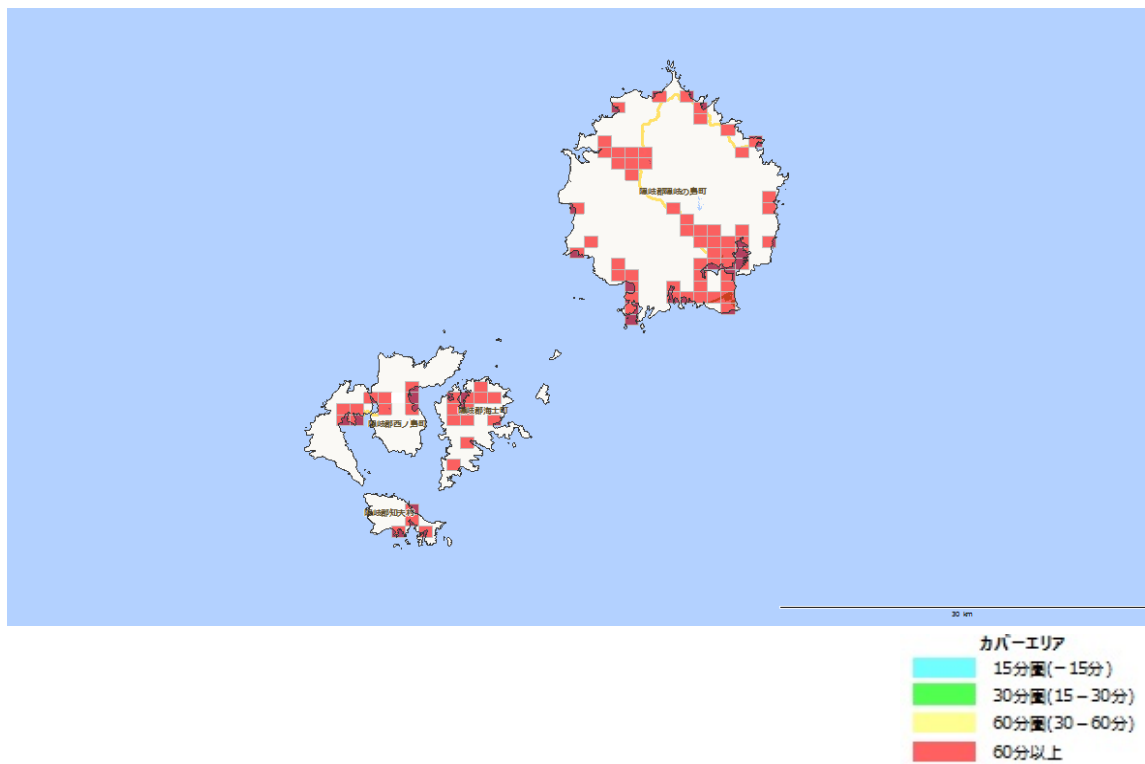
(隠岐医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表32-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表32-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



## 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

<sup>9</sup>日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。